

令和元年度 事業報告

当協議会は、「誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らしていただけること」を基本に、地域の皆様がそれぞれの地域で自立し、お互いに支え合い、助け合いながら共に生きることができる地域共生社会の実現を目指し、「支え合い 助け合いのある 顔の見えるまち かめおか」を基本理念とし、各事業に取り組んでいます。

今日、社会を取り巻く状況は、急速に進展する少子高齢化や社会・経済状況の大きな変化に伴い、個人や世帯が抱える生きづらさやリスクが複雑化・多様化しています。

このような複合的な課題や人生を通じて複雑化した課題が顕在化する中で、既存の福祉制度等の狭間から生じる社会的課題に対し、各地域の課題を把握し、地域住民の皆様及び関係機関・団体の皆様と協働して問題解決に取り組ましました。

当協議会では、地域福祉の推進をより一層進めるため平成28年度に「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」「基盤づくり」を4つの基本目標とした「改定版かめおか地域福祉活動計画」を策定しました。令和元年度に計画期間の中間年を迎え、各基本目標に係る事業の成果と課題の検証を行うとともに国・府の動向や亀岡市地域福祉計画との整合性を図りながら見直しを行いました。

令和元年度の各事業につきましても、常に住民の皆様と同じ目線に立ち、自治会関係者、民生委員児童委員、社会福祉施設、福祉関係団体、ボランティア団体及び福祉関係者など多くの皆様、そして亀岡市をはじめ行政機関のご理解、ご協力及びご支援をいただき、地域福祉の更なる推進を図るため各事業を実施しました。

介護保険事業につきましては、利用者個々のニーズに応じた質の高い介護保険サービス等の提供に努めるとともに、職員体制の充実と経営の安定化に向け、ケアマネジャーを1名増員したところです。

災害ボランティアセンターにつきましては、平成30年度の豪雨災害の経験をふまえ、京都府市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロック3社協の間で災害時における相互協力が的確に行えるよう災害ボランティアセンターに関する協定書を締結しました。

また、組織体制につきまして、会長の交代にともない新たな体制となり、年度終盤における新型コロナウイルス感染症の拡大に対しては、地域社会にも重大な影響が及ぶことが懸念される中で、状況を注視し社協としての役割をしっかりと果たしていくことを確認したところです。

令和元年度も当協議会の事業推進のため、多くの市民の皆様等から尊い寄付金・寄付の品々、また、市民福祉のつどい開催における協賛金等をいただき心から厚くお礼申し上げます。

以下、令和元年度の各事業につきまして、その概要を報告します。

令和元年度 事業概要

※事業項目の横に次のロゴで財源を記載しています。

亀岡社協	社協会費等の自主財源や基金の運用益	赤い羽根	毎年10月～3月にかけて実施する「赤い羽根共同募金」の配分金
歳末募金	毎年12月に実施する「歳末たすけあい募金」配分金	利用料	参加者や利用者の負担金
補助委託	亀岡市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業	介護保険	介護保険事業収入
障害福祉	障害福祉サービス等事業収入		

※地域福祉活動計画の各事業については、事業名の横に次のロゴで目標を記載しています。

人づくり	基本目標1・地域福祉の担い手を育む「人づくり」	絆づくり	基本目標2・共に支え合う地域の「絆づくり」
地域づくり	基本目標3・住民主体の地域福祉を推進する「地域づくり」	基盤づくり	基本目標4・社協活動への理解と参画を広げる「基盤づくり」

1. 法人運営

亀岡社協

利用料

基盤づくり

担当：総務管理係

令和元年度は、昨年引き続き観測史上初の相次ぐ大雨、大型台風の襲来により甚大な被害が発生しました。これらの災害から得た教訓として、大雨による内水氾濫や地域の冠水等も想定した被害想定認識や安否確認のタイミング・発信方法等の重要性、ハザードマップの再確認等、平常時において今一度見直すことが必要であることを踏まえ、地域福祉活動計画「人づくり、絆づくり、地域づくり、基盤づくり」の目標を再認識し各事業に取り組んでまいりました。

当協議会の運営・財政基盤である会費につきましては、人口減少が進み厳しい状況の中で、多くの市民、企業及び各種団体の方々にご理解とご協力をお願いし取り組みを行ったところ、総額8,891,025円のご協力をいただきました。

寄付金関係につきましては、一般寄付と指定寄付を合わせて総額1,696,331円の寄付金及び多くの皆様から物品のご支援を賜りました。

平成29年度から取り組んでおります「ふくかめ自動販売機」（寄付付き自動販売機）の設置は、令和元年度におきましても引き続き積極的に推進し、今年1月にオープンしました「サンガスタジアム by KYOCERA」のフードコート内に施設管理者、自動販売機事業所のご理解とご協力のもと、1台設置することができました。

また、職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指し、各係・センターの職員による職員のための「職員研修」を毎月1回程度、企画し実施しました。

なお、当協議会の活動を多くの市民の方々へ周知するため、各種事業・行事の開催などにつきまして、積極的にホームページ・フェイスブック・社協かめおか等で広報活動を行いました。

2. 地域福祉推進事業

亀岡
社協

赤い
羽根

補助
委託

利用
料

絆づくり

地域づくり

住民の皆さんから日々寄せられる暮らしの困りごとに対して、生活を支える生活福祉資金などの貸付相談をはじめ、くらしのサポートサービスや福祉サービス利用援助事業に積極的に取り組みました。また、「地域共生社会」の実現のため、地域住民一人ひとりが「支え手」と「受け手」という関係を超えて、支え合い助け合いのできる地域コミュニティをめざしその仕組みづくりの構築、またひきこもりや社会的孤立問題など、地域の福祉的課題に対しても重点を置いて取り組みました。

(1) くらしのサポートサービス事業

担当：生活支援係

住民の参加と協力によるボランティア会員により、公的な福祉サービスの利用が困難な世帯へ家事援助や外出同行などのサービスを有償で提供しており、年度末利用者数は64名（前年度比△8名）となりました。

(2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

担当：地域福祉係

平成29年度より高齢者介護予防拠点活動支援事業に名称変更となり、毎回、体操を取り入れるなど従来よりも介護予防に重点を置いた取り組みを行いました。併せて、高齢者の生きがいや健康づくりの一環として、日常動作訓練や趣味、レクリエーションなどの機会を提供することにより、心身の健康保持に努めました。活動回数は49回（前年度比△1回）で延利用人数は356人（前年度比△3人）となりました。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

担当：生活支援係

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力の不十分な方が地域で自立した生活が送れるよう、当協議会専門員及び生活支援員が契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。年度末利用者数は利用者の転出や死亡等、想定外の解約が重なったことにより35名となり、前年度と比較し3

名減少しました。活動回数については利用者個々の状況により、年間延べ1,074回（前年度比△96回）と減少しましたが、お一人おひとりの抱える課題が重層かつ複雑化してきており、1件に関わる時間は増加傾向となっています。

（4）生活福祉資金貸付事業

担当：生活支援係

低所得者世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし、各地域の民生委員児童委員の方々と連携し相談窓口となり、府社協から資金貸付けを行いました。

近年の経済・雇用状況がゆるやかに改善する中で、生活福祉資金の相談件数・貸付件数は減少傾向にあり、令和元年度については総合支援資金の貸付はなく、福祉資金・教育支援資金合わせて計41件、総額13,428,000円（前年度比△5件、△4,271,000円）の貸付となりました。

（5）福祉金庫資金貸付事業

担当：生活支援係

当協議会独自の貸付として、住民を対象に、自立更生が可能な世帯、特に必要と認める要援護世帯などに少額の資金を貸付けることにより、生活の安定に寄与し社会福祉の増進を図ることを目的とした制度です。令和元年度の福祉金庫貸付実績は合計3件で、総額60,000円（前年度比+1件、+20,000円）の貸付となりました。

（6）亀岡市生活支援体制整備事業

担当：地域福祉係

ア．生活支援体制整備事業

令和元年度亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、これまで市行政と連携をとりながら、地域資源・ニーズの把握・地域資源の開発・ネットワークの構築・ニーズと取り組みのマッチング等に取り組みを進め、2025年までの亀岡市における地域包括システムの構築を目指しています。

今年度においては、平成29年度末に設置された第1層（市町村区域）協議体事務局の運営を基本としながら、生活支援コーディネーターを全面的に補助する行う中で、住民主体を醸成する活動に重点を置き第2層（日常生活圏域）協議体設置につながる取り組みを進めてきました。

① 生活支援コーディネーターとの連携と協働、ニーズ把握とコーディネート

生活支援コーディネーターの活動を事務局として支え、昨年度から配置された2名と共に、毎月の定例会で情報共有と協議を行いながら進めてきました。

② 第2層協議体設置に向けての「市民の自主的な集い-ともいきラボ」の運営や住民主体の醸成の取り組み、および地域における連携構築

住民主体の醸成の取り組みとして、グループごと（圏域）に「妄想プラン」を考え具現化する取り組みのワークショップを14回開催し、地域での取り組みが動き始めたところです。

③ 亀岡市の関係機関・関係団体との連携・協議

事業の推進にあたっては、各団体の総会や定例会・研修会等に参加するなど自治会や地区社会福祉協議会、NPO、民生委員児童委員とのネットワークの構築に努め、理解促進を図ってきました。

④ 第1層協議体運営

「亀岡流」の協議体への模索を続ける中、住民主体で「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体として、「まちづくり勉強会」メンバーからなる協議体委員5名による事前協議も行い3月に開催することができました。

イ. 亀岡市「京都式介護予防プログラム普及促進事業」の取り組み

平成30年度より亀岡市の受託を受け、京都先端科学大学（旧京都学園大学）と協働して作成した口腔・栄養・運動を取り入れた「健康長寿かめおか“お宝“ノート¹・²」を用い、亀岡市全域において要介護状態等の予防・軽減・悪化防止に自発的に取り組んでいる状態とすることを目的に取り組んできました。

普及・展開・定着については、亀岡市が行っている「介護予防サポーター講座」を修了した有志の会「TUNAGO TETOTE」を体操リーダーとして、希望のあったサロン等31か所へ延べ54回派遣し普及・定着確認を行いました。

また、今年度末までの展開個所は13地区に加え、対象者が全域対象団体の7か所、対象者は合計725名となりました。地域サロンへの体操訪問を継続的に行い、定着を目指した活動にかかわったサポーターは11名、活動回数は89回となっています。

昨年度から活動している介護予防サポーターについては、社協が事務局として調整しながら自主的な市民活動としての組織化に向けて醸成を図ってきたところです。毎月定例会を開催し、活動内容やお宝ノートの作成を行い、体操についても共に研鑽を

重ね積極的に活動を重ねてきました。年度末には、ボランティアグループとして自主的な取り組みを進めることで合意し、新たな一步を踏み出しました。

(7) 福祉生活課題解消支援事業

担当：地域福祉係

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、災害ボランティアセンターによる講演会を開催し、約 90 名の参加とボランティアセンター登録が新たに 8 名ありました。行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制も構築する事ができました。

(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

担当：地域福祉係

地域から孤立していると思われる人の発見、相談支援、見守り等を中心とした個別支援と、社会的孤立防止対策としての地域の理解促進を目的に事業を展開しています。

ア. 地域福祉コミュニティ推進のための事業

① 地区社会福祉協議会の推進及び支援

地区社会福祉協議会は市内 12 地区で組織されており、研修会への参加促進や助成金支援等、各地区社会福祉協議会の活動支援を積極的に行うとともに、設立されていない地区につきましても、引き続き地域のニーズを把握し、地域の実情に応じた組織づくりへの支援を行いました。

② 地域サロン活動及び社会的孤立が危ぶまれる人への理解の推進

一人暮らし高齢者世帯等の戸別訪問や、サロン活動による見守り等によって高齢者の孤立・孤独を防ぎ、安全・安心な地域づくりを目指す活動の強化（拡充）を図るため、自治会、地区社協等計 14 団体（5 自治会、5 地区社協、老人クラブ・NPO 等 4 団体）に訪問見守り活動の支援を行いました。

福祉の出前講座としては、小さい単位で地域に出向き地域住民の皆さんやサロン参加者へ理解をしてもらうための講座を開催し、通報活動等への協力を求めました。

イ. 地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くありました。

相談者の孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら解決に向けて取り組むとともに、電話による状況確認、訪問など継続的でさりげない見守

りを行いました。

相談件数 57 件 対応回数 80 件（昨年度比：相談+7 件 対応+18 件）

ウ. 見守りサポーター養成講座

要配慮者の見守り支援を行うサポーターの養成と活動の充実を図るため、定例会や研修会の開催と研修会において活動についての話し合いや技術の向上を図りました。

エ. 青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

見守りの対象となりがたい年代への支援として、ひきこもりに悩むご家族の方を対象にした家族教室の開催（年 5 回実施、参加人数 延べ 32 名）とともに個別相談などケースへの対応を行いました。また、福祉、教育、医療などの支援機関同士のつながりを目的とした連携強化のためのネットワーク会議の開催など連携体制の構築に努めました。併せて、引きこもりにかかる相談窓口の周知のためチラシの全戸配布や公式 LINE の開設を行いました。（ひきこもり相談：8 件）

オ. 要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月 1 回、市と社協の担当で検討会議を開催し、事業の進行状況の確認や個別ケースについて協議しました。

カ. 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

サロン活動者対象の研修・交流会を開催し、活動への意欲と意識を高めることができ、併せて地域ニーズを把握することもできました。その中で以前よりニーズとして挙がっていた移送支援について 3 回シリーズで講座を開催し、制度や実際に行っている活動について考える機会を持つことができました。

また、第 8 回きょうと地域福祉活動実践交流会（12 月 7 日（土）京丹後市にて開催）を案内し参加していただくことで、自分たちの地域でできることを考えてもらうきっかけになりました。

(9) 福祉用品貸出事業

担当：総務管理係

介護用品等貸出事業として、介護用品などを市民の日常生活の維持に供するため、ベッド 31 件（前年度比△6 件）、車イス 155 件（前年度比+9 件）の貸出を行いました。

また、地域で実施されるサロン活動、子ども会、地区社会福祉協議会、福祉協力校等への活動支援を目的に、合計で 187 件（前年度比+58 件）のレクリエーショングッズや備品貸出を行いました。レクリエーショングッズの貸出については令和元年度、新しく作成した「サロン活動紹介 BOOK」に、この貸出についての紹介を掲載し、地域へ配布・周知したことにより、例年より多くの市民の皆さまに活用いただくことができました。

3. ボランティア活動支援事業

亀岡
社協

補助
委託

人づくり

担当：地域福祉係

ホームページ、社協かめおか等で、ボランティア活動の情報提供によるボランティア団体への支援とともに、活動を推進するための講座を開催しました。また、平成 28 年度に行った、見守り、相談支援の必要な人に対して寄り添い支援を行う“社協寄り添いサポーター”講座を受けられたサポーターが、今年度も対象者宅を訪問し、引き続き傾聴や情報提供活動を行いました。

今年度も前年度に引き続きボランティアグループ、ボランティア活動をされている市民の方々を対象とした『ボランティア 7 の日』を設定し、前年度受講者も対象に講座を開催し、更なるパソコンのスキルアップと活動のレベルアップの支援を行う中、ボランティアグループ同士の繋がりや関係づくりの支援を行いました。

空き缶のプルタブやペットボトルのエコキャップ、使用済切手やプリペイドカード等の“集めておくるボランティア”活動は、多くの市民の皆さんのご協力により寄付をいただき、プルタブで 526.9 キロ（昨年度比△53.8 キロ：800 キロで車椅子 1 台と交換）、エコキャップも開発途上国のポリオワクチン代として寄附するため約 584,000 個（昨年度比+104,000 個：キャップ 800 個でワクチン 1 人分）を収集することができ、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

また、学生との連携として、亀岡中学校学習探求部の生徒と共に様々なボランティア活動に取り組むことができました。

災害ボランティアセンターについては、災害を地域づくりの視点から考える機会として講演会を開催しました。一昨年亀岡では 7 月豪雨・9 月短期集中豪雨による被害を受けました。そのような状況の中、災害から改めて見えてきたのが「日頃からの取り組みやつながり」の大切さです。自助として、普段からどのような取り組みをしていけ

ばよいのか、共助として普段からどのようなつながりを作って行けばよいのかなど、災害を地域づくりの視点から考える機会を提供できました。

地域においても、川東地区民生委員児童委員協議会が「要配慮者の救護・誘導について」の訓練を実施され、社協からも参加し、災害時の民生委員としての動きの確認や協力体制について一緒に検討することが出来ました。

また、一昨年の豪雨災害を経験し、災害時における近隣との協力体制を構築するため、京都府市町村社会福祉協議会連合会南丹ブロック（南丹市・京丹波町・亀岡市）の2市1町が、災害時の協力体制を取るため、相互協力に関する協定を締結することが出来ました。

防災に意識を向けていただく取り組みを年間通して、各関係機関等と連携し、取り組むことが出来ました。

4. 福祉教育

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

福祉協力校の指定を受けた市内小中学校において今年度は21校が、各学校での福祉活動をサポートするため、障がい者・高齢者の方への理解を目的とした福祉ボランティア体験事業を実施するとともに、中学生及び高校生を対象とした社会福祉体験学習事業を実施しました（参加者中高校生22名）（昨年度比：+13名）

5. 各種団体への支援

亀岡
社協

赤い
羽根

絆づくり

担当：地域福祉係

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応やについて、また、地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため、各施設に関わる諸問題について役員会や総会・施設見学・情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

② 亀岡ボランティア連絡協議会

市内におけるボランティア活動の効率的、効果的な推進のために亀岡市ボランティアセンターと協働して、ボランティア、ボランティアグループおよび福祉施設相互の緊密な連絡調整を行っています。また、組織的に市民へのボランティア活動の啓発を

行うなど、ボランティア活動ならびに社会福祉の向上に努めることを目的として活動しています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取り組まれています。会員は約 215 家族で、会議への出席や事業支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 49 の老人クラブが加盟する約 2,300 名の組織であり、その事務局として、年間を通じて行われる様々な事業の開催や、事業活動・団体運営の援助等を行っています。(前年度比：△2 クラブ・△150 名)

⑤ 亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指し、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がる諸活動への支援を行っています。

6. 介護保険 介護予防・日常生活支援総合事業

介護
保険

補助
委託

介護サービス事業者として、通所介護・訪問介護・居宅介護支援事業の 3 事業を行い、「中重度の方や、認知症の方を受け入れる体制づくり」や「利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスの提供」に心がけました。中重度加算・認知症加算を含めた健全な事業運営に努めた結果、介護保険収入は総額 95,397,337 円（前年度比+6,444,447 円）となりました。

(1) 訪問介護（ホームヘルプ）事業

地域づくり

担当：ホームヘルプセンター

介護保険法に基づき、要支援や要介護の認定を受けられた利用者宅を訪問介護員（ヘルパー）が訪問し、入浴・排泄・食事などの身体介助や掃除・洗濯・買い物など日常生活上の支援を行い、年間利用者人数は 666 名（前年度比+14 名）となりました。

(2) 通所介護（デイサービス）事業

人づくり

担当：デイサービスセンター

介護保険における要支援・要介護認定の利用者へ、送迎・入浴・食事・健康チェック・外出やレクリエーションなどを通じて、心身の機能維持・向上と日々介護する家族の精神的・身体的負担の軽減となる様々なサービスを実施するとともに、保育園児や子育て支援センターとの交流、調理やクラフト、グループ体操等サービス内容の充

実に努め、1日平均20名の方に利用していただきました。

(3) 居宅介護支援（ケアプラン作成）事業

担当：老人介護支援センター

介護保険における要支援・要介護認定の相談援助、ケアプラン作成などを行い、利用者や家族等の様々な状況やニーズに応じたきめ細かな介護サービスを提供できるよう関係機関等との連絡・調整を行ないました。要介護者の担当件数は年間836件（前年度比+14件）でした。

また、居宅支援サービスの充実を図るため、主任介護支援専門員を1名増員し3名体制としました。次年度より特定事業所加算の算定を行うため、24時間対応できる体制を整えています。

7. 障害者自立支援給付事業

介護
保険

補助
委託

担当：ホームヘルプセンター

《ホームヘルプ事業》

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業として、障がい者の方が自宅で安心・安全に生活を送ることができるよう、訪問介護員（ヘルパー）が入浴・排泄・食事などの身体介助や掃除・洗濯・買い物など日常生活上の支援を行い、専門機関と連絡・連携を図りながら利用者個々の状況に応じた適切なサービスの提供に努めましたが、年間利用者数は284名（前年度比△70名）となりました。

8. 子育て支援事業

補助
委託

人づくり

絆づくり

地域づくり

基盤づくり

担当：子育て支援センター

ア. 子育て支援事業

（ひろば事業、つどい事業、相談事業（おひさま）、妊婦来館推進事業、情報提供事業
子育てサークル・サロン支援、チャイルドシート貸出事業）

子育て家庭が安心して子育てができる環境を整え、家庭における子育て力を高めるため、ひろば事業（1日平均79名利用）、つどい事業（年間73回開催）、相談事業（「おひさま」：年間529件〔前年度比+2件〕の相談に対応）の各種事業や情報提供を行いました。全体的なひろばの傾向として、今年度も子どもを連れてお父さんたちの利用が土日を中心に増えました。相談事業については、利用者支援事業として専門員によるきめ細かな対応ができました。また、地域における子育て支援として、つどい事業の一環である『かめおかっこ出前ひろば』は、民生委員・児童委員や主任児童委員を

はじめ地域の方々のご協力を得て4箇所で開催し、各地域の高齢者の方々や小学生と交流する機会も増える中、地域に根付いた事業として定着しています。今年度はさらに場所を屋外に設定した「芝生ひろば」を2回（チラシ・ポスターでの広報は1回）実施しました。延べ10回の開催となり、参加者は274名（前年度比+7名）でした。

今年度も妊婦からの子育て支援として、妊婦来館推進事業を保健センターと連携し行いました。妊婦さんにプレゼントするおもちゃ（にぎにぎ）の制作には引き続き地域の方にご協力をいただいています。妊婦登録者は第2子、3子を出産する方の割合が多い傾向にあります。今年度の登録者は55名（前年比△16名）となっています。

これらの子育て支援事業の他に情報誌「かめおかっこひろば おたより」、フェイスブックなどを通じた情報発信や子育てサークル・サロンの支援、チャイルドシート貸出事業を行っています。

なお、ふれあいルーム開館日数は延べ279日で、来館者数は延べ22,073名（前年度比△3,735名）となりました。

特に今年度については、年度終盤に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う亀岡市からの休館要請（3月1日より3月31日）を受け、事業実施回数がそれぞれ減少しました。

イ. ファミリー・サポート・センター事業

担当：ファミリー・サポート・センター

学童保育時における迎え、保育園・幼稚園の帰宅後の預かりや習い事の送迎など、仕事と育児を両立されている家庭への支援として、年間756件（前年度比△257件）の支援活動を行いました。

また、まかせて会員講習会も年8回開催し、子どもの発達や人権、子どもの安全や身近な事故の応急手当等について研修を行ったところ、延べ137名（前年度比△58名）の会員が参加し、日常の活動に役立てていただきました。今年度については、保育料の無償化や学童保育の対象学年の変更、さらに新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の影響等により援助活動回数が減少しました。

9. 市民福祉のつどい

亀岡
社協

補助
委託

絆づくり

担当：市民福祉つどい実行委員会

令和元年10月27日、ガレリアかめおかとふれあいプラザにおいて「つながり合おう地域の輪 かめおかの輪」をテーマに、『第32回市民福祉のつどい』を各種団体の協力のもと、社会福祉協議会の主催により、「ふれあいフェスティバル2019」（第38回亀岡市障害者福祉大会）、「健康いきいきフェスティバル2019」と合同で開催しました。

当日は約2,000名の世代を超えた人々が来場されました。会場では福祉に関する相談会や災害ボランティアセンターコーナー、デイ部会合同作品展、アトラクション等多彩な催しにより交流を図りました。

なお、チャリティーバザー・模擬店の売り上げの一部を共同募金会へ寄付しました。

10. 共同募金事業

赤い
羽根

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係（募金事務・募金依頼・募金付き自販機）

担当：地域福祉係（助成・イベント募金・募金百貨店）

赤い羽根共同募金については、各町自治会を中心に、市民の方にご協力いただいています。

より多くの市民の方にご理解とご協力いただき募金強化を図るため、イベント募金活動、赤い羽根共同募金機能付き自動販売機の設置、募金百貨店プロジェクト（寄付つき商品）の推進を積極的に行いました。

市民の方々にご協力いただいた募金やイベント募金、自動販売機、寄付つき商品を通じた募金については、福祉活動事業を実施する団体へ助成しました。

助成にあたっては、ホームページや社協かめおかで募集を行い、事業内容を審査委員会で審査、企画調整部会で承認後、78団体、合計4,790,327円の配分金を助成しました。

11. 歳末たすけあい運動

歳末
募金

地域づくり

基盤づくり

担当：総務管理係

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、令和元年12月1日から1ヶ月間、亀岡市自治会連合会をはじめ各種団体のご協力のもと、「みんなで支えあう あったかい地域づくり」をスローガンに実施しました。

令和元年度の街頭募金は他のイベントとの都合上、運動期間前の11月30日(土)に実施、各団体の協力により市内15箇所で行うとともに各自治会の協力による地域募金なども合わせ、総額7,155,715円の歳末募金を集めることができました。

歳末募金の使途につきましては企画調整部会で審議し、寝たきり・認知症高齢者、重度障がい児者、交通遺児、被爆者、公害患者並びに生活困窮世帯の方々へ在宅見舞金として合計857件、4,285,000円を支給するとともに、物品寄付としていただいたタオル・石鹸・ティッシュペーパー等を市内福祉施設19箇所へ配分しました。

さらに、身近な地域でのひとり暮らし高齢者やひとり親家庭の方などを対象とする地域での援助活動として、各町自治会、各地区社協及び民生委員児童委員協議会の皆様のご協力で実施した年末年始事業に、合計2,295,000円を助成しました。

令和元年度 諸 事 業 の 詳 細

1. 法人運営

(1) 会議の開催状況

ア. 理事会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和元年 5月24日(金)	ふれあい プラザ	12名 〔監事 2名を 含む〕	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度社会福祉事業決算について 3. 平成30年度公益事業決算について 4. 評議員の承認について 5. 評議員会の開催について
第2回 令和元年 6月12日(水)	ふれあい プラザ	13名 〔監事 3名を 含む〕	1. 会長、副会長の選任について 2. 顧問の選任について
第3回 令和2年 3月26日(木)	ふれあい プラザ	11名 〔監事 2名を 含む〕	1. 令和元年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 令和2年度事業計画について 3. 令和2年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 令和2年公益事業資金収支予算について

イ. 評議員会

年 月 日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和元年 6月12日(水)	ふれあい プラザ	19名 〔監事 2名を 含む〕	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度社会福祉事業決算について 3. 平成30年度公益事業決算について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について
第2回 令和2年 3月26日(木)	ふれあい プラザ 【書面決議】	23名 〔監事 3名を 含む〕	1. 令和元年度社会福祉事業資金収支補正予算について 2. 令和2年度事業計画について 3. 令和2年度社会福祉事業資金収支予算について 4. 令和2年公益事業資金収支予算について

ウ. 部会・委員会

◎企画調整部会

年月日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和元年 7月3日(木)	ふれあい プラザ	8名	1. 令和元年度共同募金配分金助成事業の助成団体審査・決定について 2. 令和元年度社会福祉協議会会員（会費）の募集について
第2回 令和元年 10月1日(火)	ふれあい プラザ	8名	1. 令和元年度歳末たすけあい運動について
第3回 令和2年 3月23日(月)	ふれあい プラザ 【書面決議】	7名	1. 令和元年度歳末たすけあい運動募金の配分実績について 2. 令和2年度共同募金配分金助成事業について 3. 共同募金委員会の設置について

◎地域福祉部会

年月日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和2年 3月13日(金)	ふれあい プラザ 【書面決議】	6名	1. 改訂版亀岡市地域福祉活動計画の中間見直しについて

◎ボランティア福祉部会

年月日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和元年 8月8日(木)	ふれあい プラザ	7名	1. 平成30年度亀岡市ボランティア基金助成金の報告について 2. 令和元年度亀岡市ボランティア基金助成金の交付決定について

◎共同募金配分金助成事業 審査・検討委員会

年月日	場 所	出席者	案 件
第1回 令和元年 6月26日(水)	ふれあい プラザ	6名	1. 委員長および副委員長の選出について 2. 令和元年度共同募金配分金助成金申請概要、審査の方法説明 3. 審査
第2回 令和2年 2月17日(月)	ガレリア かめおか	5名	1. 京都府共同募金会監査報告について 2. 申請区分の見直しについて

◎評議員選任・解任委員会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 令和元年 5月28日(火)	ふれあい プラザ	6名	1. 評議員候補者の推薦について

エ. 監査

年月日	場所	出席者	案 件
令和元年 5月10日(金)	ふれあい プラザ	4名 (会長含む)	1. 平成30年度社会福祉事業及び公益事業決算の監査

オ. 正副会長会

年月日	場所	出席者	案 件
第1回 令和元年 5月13日(月)	ふれあい プラザ	3名	1. 平成30年度事業報告について 2. 平成30年度社会福祉事業及び公益事業決算について 3. 評議員の選任について 4. 理事の選任について 5. 監事の選任について 6. 顧問の選任について 7. 会長、副会長の選任について
第2回 令和元年 10月1日(火)	ふれあい プラザ	3名	1. 令和元年度亀岡市社協会長表彰について
第3回 令和2年 3月3日(火)	ふれあい プラザ	3名	1. 令和元年度社会福祉事業補正予算について 2. 令和2年度事業計画について 3. 令和2年度社会福祉事業当初予算について 4. 令和2年度公益事業当初予算について

※ 令和2年3月 開催の評議員会及び各部会については、「新型コロナウイルス感染症」拡大予防のため、書面決議にて承認を得ています。

(2) 社協組織の強化

ア. 社協会員・会費の年度推移

年 度	会 員 数 (人)	会 費 (円)
平成29年度	15,368	9,770,510
平成30年度	14,883	9,583,900
令和元年度	14,222	8,891,025

【会費区分別内訳】

町 別 施設区分	賛 助 会 員				一 般 会 員			その他	会員数	会 費 額	30年度		
	D 20	C 10	B 5	A 3	C 2	B 1	A 0.5				会員数	会 費 額	
亀岡東部地区	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 1,407	人 3	人 1,410	円 704,650	人 1,321	円 758,300	
亀岡中部地区	0	0	0	0	0	0	1,080	1	1,081	540,300	1,094	573,850	
亀岡西部地区	0	0	0	0	0	0	696	1	697	348,050	788	394,150	
東別院町	0	0	0	0	0	188	212	0	400	294,000	416	281,500	
西別院町	0	0	0	0	0	0	218	0	218	109,000	197	98,500	
曾我部町	0	0	0	0	0	12	807	0	819	417,500	805	406,500	
吉川町	0	0	0	0	0	3	150	0	153	78,000	174	80,700	
禊田野町	0	0	0	0	1	4	659	0	664	335,500	658	334,700	
本梅町	0	0	0	0	0	21	355	1	377	198,975	417	216,000	
畑野町	0	0	0	0	0	1	117	0	118	59,500	163	82,700	
宮前町	0	0	0	2	1	301	53	0	357	335,500	427	318,000	
東本梅町	0	0	0	0	0	0	179	0	179	89,500	179	89,500	
大井町	0	0	0	0	0	6	1,329	121	1,456	707,000	1,524	764,800	
千代川町	0	0	0	0	0	12	1,185	46	1,243	615,700	1,391	699,500	
馬路町	0	1	0	0	1	295	87	0	384	348,500	386	359,500	
旭町	0	0	0	0	0	56	142	0	198	127,000	215	146,000	
千歳町	0	0	0	0	0	233	90	0	323	278,000	332	297,500	
河原林町	0	0	0	0	0	0	233	0	233	116,500	236	126,500	
保津町	0	0	2	0	0	344	145	0	491	426,500	488	369,500	
篠町	0	0	1	2	2	24	1,552	359	1,940	852,300	2,039	991,800	
東つつじヶ丘	0	0	0	0	0	35	228	28	291	156,000	316	180,600	
西つつじヶ丘	0	0	0	0	0	143	458	0	601	372,000	590	353,500	
南つつじヶ丘	0	0	0	0	1	7	274	85	367	165,550	416	203,300	
小 計	0	1	3	4	6	1,685	11,656	645	14,000	7,675,525	14,572	8,126,900	
その他	1	25	41	30	20	42	34	1	194	666,500	283	908,000	
合 計	1	26	44	34	26	1,727	11,690	646	14,194	8,342,025	14,855	9,034,900	
施設会費	社会福祉施設									13	363,000	13	363,000
	保育所・園									15	186,000	15	186,000
	合 計									28	549,000	28	549,000
会費合計									14,222	8,891,025	14,883	9,583,900	

※ 施設会費には、京都府社会福祉協議会会費分（366,000円）を含む。

イ. 寄付者名簿（順不同、敬称略）

○一般寄付・指定寄付

（単位：円）

町名	寄付者名	金額	付記
追分町	イマイグループ安全衛生協力会 縁乃会	209,620	地域福祉事業
下矢田町	下矢田町笑顔ふれあう豊かな心の集い実行委員会	17,374	々
下矢田町	下矢田町北地区サマーフェスティバル 2019	7,970	々
南丹市八木町	株式会社 親愛 安達 卓志	50,000	々
荒塚町	株式会社 親愛 代表取締役社長 安達 卓志	50,000	々
本梅町	株式会社エムアンドエムサービス 京都・烟河	14,201	障がい児者支援事業
大井町	株式会社三焔産業安全協力会	430,000	々
曾我部町	亀岡山野草を守る会	3,000	々
穂田野町	亀岡青年会議所にのうみ会	200,000	々
河原町	亀岡料飲連合会 会長 辻村 均	84,000	々
宮前町	人見 徳康	20,000	高齢者支援事業
曾我部町	斉藤 秋生	10,000	障がい児者支援事業
大井町	大井町ゴルフ協会 会長 仲井資具	50,000	地域福祉事業
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	5,000	々
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘青少年育成協議会	5,000	々
匿名 10件		271,000	高齢者支援事業 地域福祉事業 障がい児者支援事業
第32回市民福祉のつどい 模擬店・福祉の店		58,173	売上寄附
ふくかめ（寄付つき）自動販売機		210,993	年間8台分
合計	27件	1,696,331	

○物品指定寄付

寄付者名	内容	付記
下矢田町笑顔ふれあう豊かな心の集い実行委員会	じゃがいも・玉ねぎ	青葉学園へ
亀岡農家組合	新米 30kg×10袋	青葉学園へ
合計	2件	

○物品寄付

町名	寄付者名	寄付物品
宮前町	(株)イーエル・オカモト	エコキャップ 6kg
篠町	HairFace SAIWAIBrains	プルタブ 1kg
	カトリック丹波教会	プルタブ 0.3kg・エコキャップ 2.8kg・古切手
南丹市園部町	グループホーム180番地 世話人 黒 伸哉	プルタブ 1.7kg・エコキャップ 16.6kg

町名	寄付者名	寄付物品
追分町	ソニーショップ ムカイデ	プルタブ 4.3kg ・ エコキャップ 7.7kg
宮前町	タムタム酔房	エコキャップ 1.8kg
篠町	ナルク亀岡丹の里	プルタブ 33.2kg・エコキャップ 57.4kg
東つつじヶ丘	ほっこりサロンつつじヶ丘	プルタブ 1.1kg・エコキャップ 2.4kg
千代川町	メディアス亀岡3番館	プルタブ 10kg・エコキャップ 5kg
篠町	羽場 嵩季	プルタブ 800g
古世町	塩見 幸子	エコキャップ400g・古切手7枚
下矢田町	荻野 芳子	プルタブ 1.5kg・エコキャップ 3.6kg
宮前町	関口 明日香	エコキャップ 15.5kg
	亀岡市さわやか教室受講生	プルタブ 8,967g・エコキャップ 2,065g・古切手 616g・使用済みカード 270枚
西つつじヶ丘	亀岡市立つつじヶ丘小学校	エコキャップ 92.4kg
篠町	亀岡市立詳徳小学校児童会	プルタブ 3.5kg・エコキャップ 143.2kg
篠町	亀岡市立詳徳中学校	プルタブ 200g
余部町	亀岡市立城西小学校	プルタブ 17kg
千代川町	亀岡市立千代川小学校	エコキャップ 62.2kg
曾我部町	亀岡市立曾我部小学校	プルタブ 46.2kg
曾我部町	亀岡市立中部保育所保護者会	プルタブ 12.5kg・エコキャップ 20.5kg
南つつじヶ丘	亀岡市立南つつじヶ丘小学校	エコキャップ 14.6kg
畑野町	亀岡市立畑野小学校	エコキャップ 65.7kg
本梅町	亀岡市立本梅小学校	プルタブ 3.9kg
大井町	亀岡市立幼稚園	プルタブ 13.4kg・エコキャップ 29.2kg
	亀岡地区 民生委員・児童委員協議会 (福祉部会)	エコキャップ 5.5kg
篠町	亀岡電子(株)	エコキャップ 16.5kg
吉川町	吉川町自治会	プルタブ 1.8kg・エコキャップ 7.9kg・古切手・使用済みテレホンカード
東別院町	見立区自治会	プルタブ 2.9kg・エコキャップ 41.7kg
千代川町	原田自動車	プルタブ 4.2kg・エコキャップ 1.3kg・古切手 0.2kg
亀岡市	国際ソロプチミスト亀岡	エコキャップ 3.2kg・古切手 400g
畑野町	今西 多津子	エコキャップ 15.2kg
下矢田町	山下 清	エコキャップ 7.5kg
河原林町	山崎 薫	プルタブ 300g
余部町	柴田 泰男	プルタブ 1kg・エコキャップ 10kg
南つつじヶ丘	諸星塾	プルタブ 19.3kg・エコキャップ 18.2kg
千代川町	小松寺	エコキャップ 10.8kg
南丹市日吉町	小南 茂男	プルタブ 26.5kg・エコキャップ 9.5kg
千歳町	森川 久男	プルタブ 4.5kg・エコキャップ 1.4kg

町名	寄付者名	寄付物品
古世町	世界平和統一家庭連合 亀岡家庭文化センター	プルタブ 0.5kg・エコキャップ 13.7kg
南丹市園部町	生身天満宮 宮司 武部 昌英	プルタブ 0.9kg・エコキャップ 0.8kg
大井町	西村 誠	プルタブ 300g・エコキャップ 6.3kg
保津町	西田 ふく子	プルタブ 1.8kg・エコキャップ 1.5kg
千代川町	斉田 雅代	プルタブ 9.1kg
曾我部町	石田 茂雄	プルタブ 1kg・エコキャップ 8.8kg
篠町	船越 達也、遥也	プルタブ 1.4kg
曾我部町	曾我部町自治会	プルタブ 2.9kg・エコキャップ 12.9kg
下矢田町	村上 悟司	プルタブ 2kg
篠町	大橋 美路	プルタブ 0.4kg・エコキャップ 2.8kg
安町	丹波協会	プルタブ 400g・エコキャップ 3kg・古切手・使用済みテレフォンカード・プリペイドカード
曾我部町	竹井 寛	プルタブ 1.1kg・エコキャップ 5.5kg
大井町	竹内 弘年	プルタブ 600g
下矢田町	中央福祉センター卓球バレー所属 大石 宗典	エコキャップ 0.5kg
千代川町	堤 典子	エコキャップ 3.7kg
曾我部町	土谷 末野	プルタブ 0.5kg・エコキャップ 1.8kg
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	プルタブ 4.4kg・エコキャップ 3kg
北町	藤本 新一	プルタブ 4.1kg・エコキャップ 29.4kg
河原林町	特別養護老人ホーム 亀岡園	エコキャップ 10.4kg・古切手
曾我部町	内山 敏子	プルタブ 1.5kg・エコキャップ 700g
追分町	南桑土木建築(株)	プルタブ 1.5kg・エコキャップ 3.4kg・古切手 550g
	京都南丹モラロジー事務所	プルタブ 2.7kg・エコキャップ 6kg・古切手・使用済みプリペイドカード
馬路町	馬路町自治会	プルタブ 6.8kg・エコキャップ 6.3kg
曾我部町	八田 雅子	エコキャップ 0.8kg
南丹市園部町	府営住宅向河原団地ふれあい会	プルタブ 6.6kg・エコキャップ 151.4kg
南丹市八木町	平井 和美	プルタブ 4.9kg・エコキャップ 1.5kg
曾我部町	法貴 茂博	プルタブ 500g・エコキャップ 2.5kg
南丹市日吉町	牧野 正勝	エコキャップ 2.1kg・ベルマーク
千代川町	俣野 治城	エコキャップ 2.6kg
古世町	満林 俊宏	プルタブ 0.2kg・干支の色紙
千歳町	野々村 絹子	プルタブ 700g・エコキャップ 4.6kg
	郵政退職者近畿共助会 京都北支部 亀岡班	プルタブ 23kg・エコキャップ 1.5kg・古切手ハガキ等 300g
古世町	郵便局長夫人会 亀岡部会	雑巾 130枚
千歳町	洋裁サークルピンクッション	エコキャップ 4.4kg

町名	寄付者名	寄付物品
西つつじヶ丘	和久田 己善	プルタブ 11.5 kg・エコキャップ 27.5 kg
上矢田町	數井 禎	プルタブ 8.4kg
匿名 6件		プルタブ 31 kg・エコキャップ 17.7 kg
合計		81件

- ・ 切手、プリペイドカードは、知的障がい者を支援するため取扱機関へ送付しました。
- ・ 空き缶のプルタブは車椅子交換のため、また、エコキャップはポリオワクチン代として寄付するため、それぞれ再資源化業者へ送付しました。

○『ふくかめ自動販売機』（寄付つき自動販売機）の設置推進事業

亀岡市の地域福祉を充実させるために、企業・自治会・地域の皆様が所有される建物や土地のスペースに自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

☆令和元年度 設置目標2台 ⇒ 2台撤去 1台設置

【各自動販売機 寄付金実績】 (単位：円)

自動販売機設置場所 : 協力者	年間寄付金	備考 (設置期間)
吉川町公民館 (敷地内) : 吉川共栄報徳会	6, 267	H29年9月29日設置
馬路町生涯学習センター : 馬路町自治会	5, 610	H29年9月29日設置
ふれあいプラザ前 : 亀岡市社協	84, 827	H29年9月29日設置
東つつじヶ丘ふれあいセンター : 東つつじヶ丘自治会	20, 193	H29年12月12日設置
京都スタジアム新築工事現場 (2台) : (株)竹中工務店	76, 346	H30年5月15日設置 R1年12月撤去 (9ヶ月)
保津町自治会 (敷地内) : 保津町自治会	8, 704	H30年9月19日設置
サンガスタジアム by KYOCERA : 合同会社ビバ&サンガ	9, 046	R2年1月8日設置 (3ヶ月)
合計	210, 993	

自動販売機設置協力事業所：(株)伊藤園

和元年度に『ふくかめ自動販売機』を通じた上記寄付金を、災害活動支援・見守り活動・貸出グッズ購入・新型コロナウイルス対策に活用させていただきました。

- ・ 災害活動支援・・・台風第19号 第2回目ボランティアバスへの物的支援
- ・ 見守り活動・・・ドライブレコーダー用SDカード購入
- ・ 貸出グッズ・・・ミニボッチャレトロ購入 ミュージックベル タッチ式購入
プロジェクター・スクリーン購入

(3) 広報活動

当協議会の事業や活動を市民に周知し、理解・協力を得るために広報活動を行いました。

ア. 広報紙「社協かめおか」の発行

発行部数 年5回 32,000部/1回

配布方法 自治会を通じたの全戸配布及び市内関係機関へ配布

イ. ホームページ・フェイスブック

当協議会の活動を広く周知するための広報媒体として活動内容や各種情報を掲載しました。

ホームページ・アドレス 亀岡市社会福祉協議 <http://www.fukukame-net.or.jp/>

(4) 名義後援

当協議会では、各種団体や福祉施設などが行う関連のある事業について、名義後援を行いました。

事業名	名義後援 件数
地域福祉事業	2 件
高齢者福祉事業	8 件
障がい福祉事業	6 件
子育て支援事業	3 件
その他	0 件
合計	19 件

(5) 人材育成の取組

職員の資質向上とチームワーク力の強化を目指し、社協職員全員が社協全体を知ること、理解すること、社協職員としての自覚を持ち、縦割りの業務にならないように、各係・センターが“つながり”を考えながら各々の業務をすることを目的として取り組みました。

ア. 「亀岡市社協職員研修」

年月日	研修担当 係・センター	参加人数	内容
平成31年 4月19日 (金) 18:00～ 19:30	地域支援課 生活支援係	50名	・福祉サービス利用援助事業 ・生活福祉資金貸付 ・福祉金庫資金貸付 ・くらしのサポートサービス ・実習生の受け入れについて
令和元年 6月21日 (金) 18:00～ 19:30	総務課 子育て支援センター ファミリー・サポート・ センター	44名	「感じてみよう！子育ての今！」 ・かめおかっこひろば ・ファミリー・サポート事業 ・子育ての現状 ・利用者支援事業（相談事業） ・センターで大事にしていること 他

年 月 日	研修担当 係・センター	参加人数	内 容
令和元年 7月26日 (金) 18:00～ 19:30	地域支援課 地域福祉係	43名	「笑いあり、楽しい～ち・い・き」 ・各事業の内容説明 ・福祉出前講座～認知症サポーター講座～（職員の実演） ・京都式介護プログラム～お口の健康～実践
令和元年 8月23日 (金) 18:00～ 19:40	介護事業課 デイサービスセンター	39名	「体験！デイサービスセンター」 ・デイサービスセンターの役割 ・デイサービスセンターの1日 ・レクリエーション ・みんなで体験「ズンドコ節」「三々七拍子」
令和元年 9月20日 (金) 18:00～ 19:30	総務課 総務管理係	43名	・社会福祉協議会とは ・亀岡市社協の歴史・組織図・理事評議員の役割 ・年間行事、社協会費 ・働き方改革～年休の取得、時間外労働について
令和元年 11月22日 (金) 18:00 ～19:30	介護事業課 老人介護支援センター ft . 介護サービス庶務 担当	43名	・介護保険制度について ・介護サービス庶務担当の1日の仕事 ・ケアマネジャーの1日の仕事 ～人と介護をつなぐ居宅介護支援サービス～

※介護事業課 ホームヘルプセンターは令和2年度6月に実施予定

イ. 社会福祉援助技術現場実習生受入れ

【趣旨】

当協議会では「福祉人材の育成」を大切な役割の一つと考え、その一環として社会福祉士受験資格取得に必要である「社会福祉援助技術現場実習」を積極的に受け入れています。

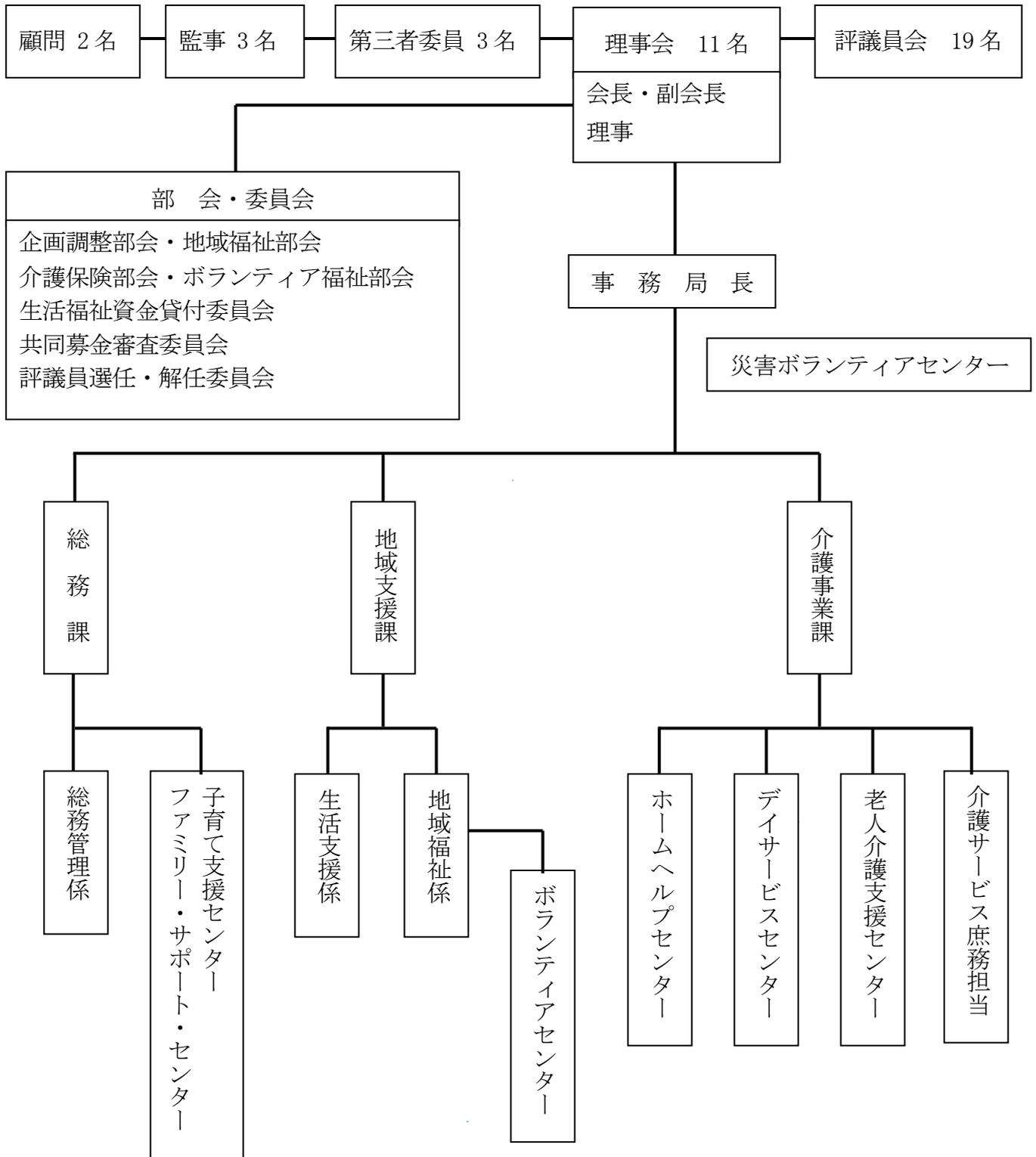
【実績】

年 度	受入れ人数	依頼元大学
平成29年度	2名	花園大学、佛教大学
平成30年度	1名	花園大学
令和元年度	1名	花園大学

(6) 組織図 (令和元年度：令和2年3月31日現在)

計 85 名 (正職員 25 名 嘱託職員 6 名 非常勤職員 3 名

登録ヘルパー17名 生活支援員 20 名 臨時職員 14 名)



(7) 事務局体制の強化と役職員の資質向上

年間を通して、職員対象の人権研修、コンプライアンス研修、衛生管理研修、健康講座、また係・センターごとのスキルアップ研修等を積極的に実施いたしました。

外部研修においては、特に亀岡市開催の研修・京都府社協及び京都府福祉人材研修センター開催の各種研修等に職員の資質向上を目的に、積極的に参加をしました。

2. 地域福祉推進事業

(1) 暮らしのサポートサービス事業

【事業趣旨】

暮らしのサポートサービスは、日常生活を営むのに支障があり、何らかの理由で他の福祉サービスの利用等が困難な世帯に対し、市民の参加と協力により、非営利のボランティアな活動を基盤とした住民相互の助け合いによる福祉サービスを供給することにより、在宅福祉の充実と市民の福祉活動への積極的参加を促進することを目的とする事業です。

【支援内容】

○家事援助

- ・掃除（居室、風呂掃除、窓拭き等）
- ・洗濯
- ・買物
- ・調理
- ・庭の草引き
- ・入院中の病院での洗濯や買物
- ・その他

○外出同行

- ・病院、役所、買物等の外出時の付き添い

【活動実績】

活動実績】

○ 会員数

協力会員（実数） 25名（内、新規会員 1名）

利用会員（実数） 64名（ ” 20名）

○利用状況実数

- ・外出同行：受診の同行7件 買い物の同行5件
- ・家事援助：掃除48件 洗濯4件 買い物16件 調理4件 その他23件
- ※ 「掃除と買い物」の様に組み合わせての利用を含む。
- ※ その他…草刈り等の軽作業 他。

○年度別活動実績

年 度	利用会員数（月平均）	協力会員数（月平均）	活動回数
平成29年度	28.4人	16.9人	1,280回
平成30年度	35.9人	20.0人	1,357回
令和元年度	34.3人	18.5人	1,222回

○協力会員研修・交流会

- ・実施日 : 令和元年3月9日(月)
 - ・内容 : 説明会「事業運用改定の説明会」
 - ・改定の概要について
 - ・改定にともなう報告書等の様式変更
 - ・その他
 - ・会場 : ふれあいプラザ 世代間交流室
 - ・受講者 : ※参加申し込み人数 8名
- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業運用改定に伴うQ&Aを含む資料の送付により対応しました。

(2) 亀岡市高齢者介護予防拠点活動支援事業

高齢者介護予防拠点事業は、運動・口腔などに係る介護予防に重点を置いた取り組みを行っており、今年度は身体と指先を動かすことにさらに力を入れた取り組みをすすめました。音楽に合わせて有酸素運動を行うことで、運動機能の向上や転倒予防に努めています。また、笑いヨガ、脳トレ・脳スケ(スケルトン)を行なうことにより脳の活性化をはかっています。高齢者の生きがいとして、集中力を高める事が出来る書道にも取り組み、健康づくりと日常動作訓練や趣味活動、レクリエーションなどの機会を提供しています。

【実施場所】

- 曾我部いこいの家
毎週水曜日(年末年始・祝日を除く)
午前10時から午後3時まで

【実施内容】

健康チェック、体操、脳トレ、日常動作訓練、教養講座、手芸、趣味活動

○活動状況

	曾我部いこいの家	
	活動回数 (回)	延利用 人数(人)
平成29年度	47	417
平成30年度	50	359
令和元年度	49	356

- ※ 協力会員の登録は5名 一日の担当は2名
- ※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月3回の開催を中止とした。

【事業成果】

定期的に通われ、運動や趣味活動に積極的に取り組まれています。自宅においても作品作りや脳トレなどに取り組まれるなど、楽しみながら覚えておく努力もされています。また来所されている皆さんと会話を楽しみ関わりを持っていただくことで、生きがいと介護予防につながっています。平成13年度のスタートから継続して参加されている利用者も多く、毎週参加をとっても楽しみにして頂いています。介護予防を目的としているこの事業の成果が表れています。

(3) 福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

【事業趣旨】

福祉サービスは、自らの意思と責任で、必要なサービスを選び、サービス事業者と対等な関係で契約を結ぶことが基本です。しかし、自分の判断能力に不安がある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすれば福祉サービスを利用できるのか、さまざまな場面で判断に迷い、適切なサービスを利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による過剰な物品の購入などのトラブルに巻き込まれる場合も想定されます。

福祉サービス利用援助事業は、そうした方々の個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を社会福祉協議会が支援することで、誰もが地域で、“いきいき”と“安心して”暮らせるようにお手伝いする事業です。

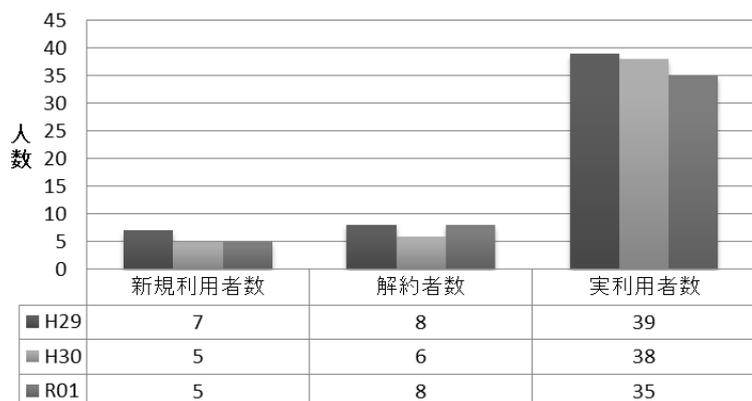
【支援の内容】

- 福祉サービス利用の支援
 - ・福祉サービスについての情報提供
 - ・福祉サービスの利用手続き援助（申込手続きの同行、代行）
 - ・福祉サービス利用料の支払い等
- 日常的な金銭管理の支援
 - ・年金や福祉手当などの受領手続き
 - ・税金・公共料金・医療費・光熱費・家賃などの支払い
 - ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き
 - ・日常生活支援に必要な通帳・印鑑の預かり
 - ・その他、書類等の預かり

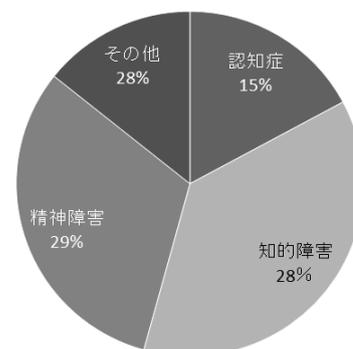
【活動実績】

年 度	活 動 実 績				相談状況 (件)
	生活支援員 (人)	専門員 (人)	利用者数 (人)	活動回数 (回)	
平成29年度	17	2	39	1,111	32
平成30年度	16	2	38	1,170	30
令和元年度	20	2	35	1,074	34

新規・解約・実利用者数 推移



実利用者 類型内訳



【事業成果】

【事業成果】

近年、課題を重層的に抱える方（世帯）からの申し込みが増加しており、令和元年度は慎重に利用者との契約を進めたため、新規契約数は平成30年度と同数になりました。また、年度末利用者数は35名であり、平成30年度と比較して3名の減少となりましたが、それには利用者の転出や死亡等、想定外の解約が重なったことが影響しています。

支援では、全体的に多角的な側面から対応することができました。例えば、ある高齢の利用者の支援では、利用者は、身体機能の低下で外出したくてもできない状況であり、その状況とこれまで自身が貯めてきた預貯金を自分のためにどのように使うかとの間で悩みを抱えておられましたが、利用者・ケアマネージャーと一緒に利用者の思いに添える方法を検討し、外出支援を行う事業所の支援を得て利用者の日帰り旅行を実現することができました。また、利用者が地域との繋がりを再構築できるよう関係機関と連携を図り、利用者が地域で安心して生活できるよう支援を行いました。

(4) 生活福祉資金貸付事業

【事業趣旨】

所得が少ない世帯、障害者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるようにすることを目的とし実施しました。

【資金種類別内容及び実績】

① 総合支援資金

失業者等、日常生活全般に困難を抱えておられる方に、経済的自立を支援することを目的とした貸付金ですが、今年度は相談までの対応で自立を促すことができ、結果貸付決定には至りませんでした。

資金内種別	件数(件)	決定金額(円)	送金額(円)
生活支援費	0	0	0
住宅入居費	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0
合計	0	0	0

② 福祉資金

低所得者や障がい者・高齢者世帯を対象に、生活の安定を目指すことを目的として、必要な資金の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額(円)	送金額(円)
福祉費	1	270,000	894,000
緊急小口資金	3	400,000	500,000
合計	4	670,000	1,394,000

※送金額が決定金額を上回っているのは、前年度決定分が今年度送金されているため

③ 教育支援資金

低所得世帯に属する方が学校教育法に規定する高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校に就学するのに必要な経費の貸付と担当職員による相談支援を行いました。

資金内種別	件数(件)	決定金額 (円)	送金額 (円)
教育支援費	19	9,003,000	6,207,000
就学支度費	18	7,081,000	5,827,000
合計	37	16,084,000	12,034,000

※ 送金額が決定金額を下回っているのは、公立校への進学が決まり、当初私立校で申請されていた額から辞退されたため

【事業成果】

中学校のスクールソーシャルワーカーより連絡があり、「上のきょうだいが高専進学していない母子家庭の生徒がおり、本人の希望もあり進学を勧めたいが資金の面で課題があるため連携を取りたい。」との相談をいただき、担任の教諭・進路担当教諭・スクールソーシャルワーカーと綿密に連携し、ご本人および母と数度の面談を重ね、本資金貸付を申請・決定。無事希望校に合格し、ご本人の希望通り進学できることとなりました。

今年度の実績を踏まえ、今後も中学校・高校との連携を図っていくこととします。

(5) 福祉金庫資金貸付事業

【事業趣旨】

亀岡市民であって、自立更生の意欲のある世帯及び、特に必要と認める要援護世帯などに資金を貸付け、その生活の安定と自立更生に役立たせ、社会福祉の増進を図ることを目的とし、不時の出費などによって、最低生活を脅かされる恐れのある世帯、要援護世帯など、他からその必要な資金を得ることが困難な方に対して貸付を実施しました。

【貸付および償還実績】

令和元年度貸付分		令和元年度貸付分償還額	
貸付件数	3件	償還金額	19,000円
貸付金額	60,000円		

※ 貸付額： 1件2万円以内

※ 償還期日： 1年以内

※ 利息： 無利子

【事業成果】

今年度は貸付件数・金額とも前年度とほぼ同水準となりました。相談があった際には状況をしっかりと聞き取ったうえで本資金貸付が必要と判断した世帯については、柔軟・迅速に貸付対応をしました。

また、滞納者に対し電話等にて償還を促すとともに、滞納世帯の現状に応じて償還方法の変更の提案等を実施し、償還に繋げる努力をしました。

(6) 亀岡市生活支援体制整備事業

ア. 生活支援体制整備事業

「介護予防・日常生活支援総合事業」の整備実施にあたり、亀岡市生活支援体制整備事業を受託する中で、亀岡市政と連携を取りながら、第1層協議体の事務局を運営し、生活支援コーディネーターと共に①地域資源ニーズの把握 ②地域資源の開発 ③ネットワークの構築 ④ニーズと取組みのマッチングを行い、また亀岡市第2層協議体設置に向けた体制整備を行うことで、2025年までに亀岡市における地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

本年度は、平成29年度末亀岡市に設置された、第1層協議体事務局の運営を基本としながら、生活支援コーディネーターの全面的な補助を行う中

- ① 生活支援コーディネーターとの連携と協働、ニーズ把握とコーディネート
 - ② 第2層協議体設置に向けての「市民の自主的な集いともいきラボ」の運営や住民主体の醸成の取組み、および地域における連携構築
 - ③ 亀岡市の関係機関・関係団体との連携・協議
 - ④ 第1層協議体運営
- に取り組んできました。

とりわけ、「亀岡流」の協議体、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」をめざし、住民主体を醸成する活動に重点をおき取り組んできました。昨年度のまちづくり勉強会の次の段階として、意識をもっておられる住民が主体的に考え協働し実際の地域で何らかのアクションをおこしその活動を通じて、従来からの自治会や住民組織・地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉の枠組をひろげ、それが第2層協議体設置につながることをめざして、取り組んできました。

① 生活支援コーディネーターとの連携と協働、ニーズ把握とコーディネート

地域資源・ニーズを把握、開発し、ネットワークでつなぎ、取組みをマッチングしていく役割を担う生活支援コーディネーターの活動を事務局として支え、昨年度から配置となった2名の生活支援コーディネーター（SC）とともに、毎月の定例会で情報共有と協議を行いながら、進めてきました。

自治会や地区社協、地域での集いの場への参加、地域包括支援センターとの懇談により圏域としての地域のニーズを把握し連携する活動や、地域資源の開発支援として、サロンの立ち上げ相談なども積極的に行ってきました。

生業を持ちながらの兼務であるSCが業務を効率よくできるために、訪問にあたっての日程調整や事前準備、ワークショップの事前準備および当日対応など地域に溶け込むためのサポートについては、社会福祉協議会において事務局として全面的に行ってきました。また、社会福祉協議会としても、地域の通い場やサロン活動への訪問調査など圏域ニーズ、資源把握等についても全面的にバックアップを行い、ともに取組みを進めてきました。

◎令和元年度のとりくみ - SC 定例会

開催日	場所	内容	出席人数
4月12日 15:00～	社協相談室	生活支援体制整備事業の方向性やプラン、SC定例会の持ち方協議	6名
5月10日 15:00～	社協相談室	共生のまちづくりワークショップの進め方、移送ニーズについて	6名

開催日	場所	内容	出席人数
6月12日 15:00～	社協相談室	ワークショップの進め方、生活支援、地域への働きかけについて	6名
7月10日 15:00～	社協相談室	ワークショップの開催準備、地域情報の共有	6名
8月19日 13:30～	社協相談室	ワークショップの開催準備、地域情報の共有	5名
9月11日 15:00～	社協相談室	2層協議体設置にむけた地域の話し合いの場づくりにむけて	6名
10月9日 15:00～	社協相談室	圏域ごとの地域状況ニーズ把握・地域包括との連携について	6名
11月8日 15:00～	社協相談室	ワークショップ「ともいきラボ」の今後の地域での展開について	6名
12月13日 15:00～	社協相談室	本年度中間総括と今後の進め方、事業所団体との協働など	6名
1月15日 15:00～	社協相談室	ともいきラボの進行状況、コアメンバー会議報告	5名
2月12日 15:00～	社協相談室	第一層協議体について、プラットフォームづくりについての協議	6名
3月11日 15:00～	社協相談室	本年度のまとめ、今後の進め方、第一層協議体会議の準備	5名

◎令和元年度のとりくみ - 地域の資源を「見つける」「つなぐ」「開発する」

	開催日	訪問先	場所	対象人数	訪問者数	内容
自治会・地区社協への地域情報の聞き取りと情報共有	7月10日	東別院町自治会	東別院町自治会館	1名	2名	地域ニーズ-移送支援聞き取り
	8月20日	千歳町自治会	千歳町自治会館	1名	1名	地域支えあい聞き取り
	12月3日	西別院町自治会	西別院町自治会	1名	2名	地域について 自治会長と懇談
	1月28日	地区社協会長会	亀岡たなばたの郷 地域交流スペース	10名	6名	地域情報の共有・懇談

	開催日	訪問先	場 所	対象 人数	訪問 者数	内 容
連絡調整 地域との	10月11日	東つつじヶ丘 地区社協	東つつじヶ丘 コミュニティセン ター	1名	1名	ともいきラボの地域での活動 の導入調整
	10月16日	東つつじヶ丘 自治会	東つつじヶ丘 コミュニティセン ター	1名	2名	ともいきラボの地域での活動 の導入調整
・ 出前講座 地域への啓発活動	4月13日	京町	京町会議所	16名	2名	出前講座-地域の見守りにつ いて
	6月12日	篠町親和会	ひばりヶ丘集 会所	21名	2名	出前講座-地域のささえあ いについて
	12月9日	篠町親和会	ひばりヶ丘集 会所	24名	2名	出前講座-介護予防の体操 について
	2月1日	宮前町地区社 協	宮前町自治会 館	34名	3名	出前講座-生活支援体制整 備事業
立ち上げ相談 居場所・生活支援サ ービス等	8月26日	デイサービス さくら	デイサービスさ くら	6名	1名	サロン立ち上げ支援
	10月15日	デイサービス さくら	デイサービスさ くら	6名	2名	サロン立ち上げ支援
	10月28日	デイサービス さくら	デイサービスさ くら	3名	2名	サロン立ち上げ支援
	11月20日	デイサービス さくら	デイサービスさ くら	20名	2名	サロン立ち上げ支援
	8月24日	東本梅町大内 地区	大内営農セン ター	7名	2名	サロン立ち上げ支援
	9月24日	東本梅町大内 地区	大内営農セン ター	10名	2名	サロン立ち上げ支援
	10月2日	東本梅町大内 地区	大内営農セン ター	30名	2名	サロン立ち上げ支援
	2月3日	大井町桜ヶ丘	市社協	2名	1名	サロン立ち上げ相談
	2月4日	宮前町地区社 協・自治会	宮前町自治会	4名	2名	移送ボランティア 立ち上げ相談

② 第2層協議体設置に向けての「市民の自主的な集い-ともいきラボ」の運営や住民主体の醸成の取り組み、および地域における連携構築

住民主体の醸成の取り組みとして、昨年度3月23日に開催した「おだやかな革命」映画上映会とワークショップに参加された方を契機として、手を上げてくださったまちづくりに関心のある方々約20名とともに、本年度は実際に地域で活動を始めるための「共生（ともいき）のまちづくりワークショップ-ともいきラボ」を14回開催し、住民主体の醸成に継続して取り組んできました。

ワークショップでは、「妄想プラン」として住みたい町の夢のプランを自由に考えるところか

らはじまり、「ともいきラボ」のグループができ、グループごとにプランを具現化する一現実の地域でプランの実現をめざす活動を展開し、地域での取り組みが動き始めたところです。

それぞれのワークショップのグループが実際の地域で取り組みを始めるための環境整備や地域との連絡調整等を市社協が事務局として支援を行いました。

◎令和元年度のとりくみ - ワークショップ

	開催日	場 所	内 容	参加者数
「共生のまちづくり ワークショップ」 ともいきラボ（全体会）	5月18日	市社協世代間交 流室	「こんなまちなら住みたい」夢のプランを考えるワーク	20名
ともいきラボ（全体会）	8月27日	市社協世代間交 流室	夢のプランを具現化するワーク①	19名
ともいきラボ（全体会）	10月1日	市役所別館3階	夢のプランを具現化するワーク②	19名
ともいきラボ（全体会）	11月12日	市社協世代間交 流室	夢のプランを具現化するワーク③	18名
グループラボ（星）	12月5日	友愛園あんしん サポート ハウス地域交流 室	グループごとに具現化作業	9名
グループラボ（花）	12月19日	東つつじヶ丘コ ミュニティセ ンター	グループごとに具現化作業	10名
グループラボ（月）	12月24日	相談室3	グループごとに具現化作業	7名
グループラボ（星）	1月9日	市社協 相談室 3	グループごとに具現化作業	7名
グループラボ（月）	1月14日	市社協 相談室 3	グループごとに具現化作業	9名
グループラボ（花）	2月6日	東つつじヶ丘コ ミュニティセ ンター	グループごとに具現化作業	7名
グループラボ（月）	2月18日	世代間交流室	グループごとに具現化作業	7名
グループラボ（星）	2月19日	世代間交流室	グループごとに具現化作業	4名
グループラボ（花）	2月19日	世代間交流室	グループごとに具現化作業	3名
ともいきラボ（全体発 表）	2月26日	ガレリア大広間	亀岡市社協の「サロン活動者研修交流会」でのプラン発表と参加呼びかけ	19名

また、第2層協議体設置にむけての活動としての住民主体を醸成する活動および地域との連携、地域での話し合いの場づくりに向けて活動については、南つつじヶ丘や東つつじヶ丘などで、自治会や地区社協、地域住民とSCの懇談の場を持ち、圏域としてのニーズの聞き取りや意見交換をおこなうとともに、「地域での話し合いの場」づくりへの関係構築、「ともいきラボ」の住民の自主的な地域での活動展開が、地域とリンクすることをめざしての調整を行ってきました。

◎令和元年度のとりくみ - 住民との連携

地域	日付	場所	内容	人数
南つつじヶ丘	10月4日	南つつじヶ丘 コミュニティセンター	地区社協・自治会・市社協 懇談	4名
南つつじヶ丘	10月24日	南つつじヶ丘 コミュニティセンター	地区社協・市社協・懇談	8名
南つつじヶ丘	11月11日	南つつじヶ丘 コミュニティセンター	地区社協・自治会・NPO・SC・市社協・懇談	12名

③ 亀岡市の関係機関・関係団体との連携・協議

生活支援体制整備事業推進においては、地域におけるさまざまな団体・事業所・施設等とのネットワークづくりや協働が不可欠です。本年度は、自治会や地区社会福祉協議会役員との懇談や、市民活動を行うNPOとの懇談、民生委員児童委員協議会での出前講座による理解促進とニーズの聞き取り、協力依頼などネットワークの構築に努めました。

また、亀岡市社会福祉協議会として、生活支援体制整備事業に協調したとりくみとして、支えあいづくりの啓発ツール「みんなで創るわたしたちの“まち”の未来-人と人とのつながりを大切に - みんなが暮らしよい地域のネットワークづくり-協働BOOKの発行をおこないました。来年度も継続してささえあいづくりの環境整備に努めていきます。

◎令和元年度のとりくみ-亀岡市の関係機関・関係団体との連携・協議

	関係機関・団体	実施日	場所	対象	訪問者	内容
関係団体	市民活動推進センター -まちづくりフォーラム	11月24日	ガレリアかめ おか大広間	85名	2名	活動内容の見学
	ナルク-総会	6月24日	ガレリアかめ おか研修室	74名	1名	活動内容の見学
	ナルク-終活セミナー	11月28日	南つつじヶ丘 コミュニティセンター	40名	1名	活動内容の見学

	関係機関・団体	実施日	場所	対象	訪問者	内容
民生委員児童委員	東本梅町	7月19日	東本梅町	7名	2名	民生委員・地域包括・市社協懇談
	中部・西部民児協交流会	8月1日	蕪田野町自治会会議室	56名	2名	地域情報把握
	中部民児協定例会	6月6日	吉川町自治会ホール	44名	4名	出前講座-生活体制整備事業について
	中部民児協定例会	7月11日	千代川自治会ホール	40名	2名	地域情報把握
	つつじヶ丘民児協定例会	10月10日	西つつじヶ丘コミュニティーセンター	22名	3名	出前講座-生活体制整備事業について
地域包括支援センター	つつじヶ丘包括支援センター	6月4日	つつじヶ丘包括支援センター	4名	1名	地域状況聞き取り
	西部地域包括支援センター	7月11日	西部地域包括支援センター	1名	2名	地域状況聞き取り
	つつじヶ丘包括支援センター	10月4日	つつじヶ丘包括支援センター	2名	4名	地域状況聞き取り
	篠地域包括支援センター	10月10日	篠地域包括支援センター	3名	4名	地域状況聞き取り
	西部地域包括支援センター	10月15日	西部地域包括支援センター	4名	4名	地域状況聞き取り
	川東地域包括支援センター	10月17日	川東地域包括支援センター	4名	4名	地域状況聞き取り

④ 第1層協議体運営

「亀岡流」の協議体への模索を続ける中、住民主体の「やらされ感のないまちづくり」を考えるための協議体として、3月に第1層協議体委員会を開催しました。平成29年度の協議体のあり方を考える学習会を重ねてきた「まちづくり勉強会」から選出されたメンバーからなる協議体委員（コアメンバー）5名により、第一層協議体での実りある協議のための、事前協議もおこないました。

◎第1層協議体会議

第1層協議体会議では、会長に選出された天理大学松田美智子教授の進行により、第1層協議体の組織強化の方策としての「実務者会議」の設置や、生活支援ささえあいのしくみづくり、より市民に浸透させるための情報発信の必要性などが話し合われました。

◎令和元年度のとりくみ-第1層協議体会議

開催日時	場所	内容	出席人数
令和2年3月25日 15:20~16:45	亀岡市役所 別館3階	会長選出、 生活支援体制整備事業とは これまでの取り組み 令和2年度に向けた取り組み	14名

◎コアメンバー会議による事前協議

コアメンバー会議では、現在必要な課題である、生活支援ささえあいのしくみづくりや、地域のプラットフォーム=地域での話し合いの場づくりをめざすしくみについて協議をおこない、「しくみづくりプラン」をまとめ第一層協議体会議に提案をおこないました。また、協議体組織を強化し、より機動力をもって推進していくために、協議体委員（コアメンバー）に必要な応じて地域から専門家や活動関係者を加えた「実務者会議」をつくり、調査や協議をおこないプランにまとめ第一層協議体に提案する組織強化の提案もおこないました。

◎令和元年度取り組み - コアメンバー会議

開催日時	場所	内容	出席人数
令和元年11月14日 9:30~11:00	市社協 世代間交流室	本年度の取り組み経過報告および 意見交換	11名
令和2年2月4日 10:00~12:00	市社協 世代間交流室	第1層協議体の機能強化 生活支援サービスの作り出しや地域 の話し合いの場(プラットフォーム) づくりについて	12名

◎生活支援コーディネーター研修連絡会

開催日時	場所	内容	出席人数
令和元年9月25日	京都府医師会館 会議室310	生活支援コーディネーター養成研修 (京都府)	2名
令和元年9月9日	大阪府立国際会 議場グランキュー ーブ	いきがい・助け合いサミットin大阪 (公益財団法人 さわやか福祉財団)	5名
令和2年1月14日	京都テルサ D会議室	令和元年度 地域資源の開発・充実と 活用促進に関するセミナー	2名
令和2年1月30日	キャンパスプラ ザ京都	令和元年度 生活支援体制整備事業推 進のための情報交換会(京都府・公益 財団法人 さわやか福祉財団)	2名

イ. 亀岡市「京都式介護予防総合プログラム普及促進事業」の取組み

平成30年度後期より亀岡市の委託を受けた、亀岡市「京都式介護予防総合プログラム普及促進事業」については、京都先端科学大学・吉中康子特任教授と連携を取りながら作成した、「健康長寿かめおか”お宝”ノート」を用い、亀岡市全域において要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減もしくは悪化防止に自発的に取り組んでいる状態とすることを目指しています。

亀岡市においては、市全域に京都式介護予防総合プログラムを普及促進するために「介護予防サポーター」の養成講座を平成23年度から令和元年度末まで16回実施しており、その介護予防サポーターの中から活動に興味がある、又は、自ら活動したいとアンケートに回答のあった約20名に向けて、活動できる場の提供等の支援を行いながら共に展開してきました。

また、京都式の普及にあたっては、京都府、京都府立医科大学、京都先端科学大学（旧京都学園大学）等と連携し開発した「京都式介護予防プログラム」を基に京都先端科学大学・吉中康子特任教授の監修で運動、口腔、体操の基本要素を取り入れた「健康長寿かめおか”お宝”ノート¹」の継続普及と定着確認、併せて「健康長寿かめおか”お宝”ノート²」の作成を行い、亀岡市における65歳以上高齢者の介護予防をめざし、希望のあった地域サロンに紹介するとともに介護予防サポーターの派遣を行うなど、参加、継続してみたいと思える仕組み作りに努めてきました。

【令和元年度の主な取組み】

① 京都式介護予防プログラムを亀岡市全域に対して展開する

◎ 「健康長寿かめおか”お宝”ノート²」の作成・展開に向けての調整

日 時	場 所	主な内容	参加者数
令和元年 7月19日(金) 13:00~14:20	京都先端科学大学 光風館	体操冊子第2版作成についての 打ち合わせ	5名
10月24日(金) 13:00~14:20	京都先端科学大学 体育館ラウンジ	体操冊子第2版作成についての 打ち合わせ	4名

“お宝”ノート²の作成にあたっては、京都先端科学大学大学吉中康子特任教授、亀岡市、亀岡市社会福祉協議会の3者での打ち合わせを2回行い、詳細については、前3者に介護予防サポーター有志の会を加え、参加者の状況や体操指導の視点からも取り組みやすいものにするため調整を重ね丁寧に作り上げました。

展開については、市内NPOによる12カ所の体操教室と亀岡市社会福祉協議会で把握しているサロン等既存の活動場所への展開を併せて全域を目指すこととし、約31カ所のサロンへ延べ54回訪問し、打診・紹介・定着確認を行いました。

導入を行うサロンにあたっては、各サロンの趣旨や活動内容（歌声喫茶や小物作り、季節行事等）について参加者からの想いや要望もあるため、介入団体に合わせた頻度・回数となるプログラム設定を行い、サロン離れを招かないためにもサロンの意向に沿うよう慎重に行いました。

◎サロン等にむけての取り組み（時系列）

活動日	サロン名	活動場所	対象者地域	圏域
4月1日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集会所	篠町西山区	篠
4月1日(月) 13:15~13:30	ふれあいネット西つつじ (映画鑑賞会)	西つつじヶ丘ふれあいセンター	西つつじヶ丘	つつじヶ丘
4月5日(金) 13:00~13:30	悠遊クラブ	メディアス2集会所	大井町メディアス2番館	中部
4月13日(土) 14:00~15:00	京町ほのぼのサロン	京町自治会	京町	亀岡地区中部
4月24日(水) 13:30~15:00	歌声広場「あさひ」	杉区公民館	旭町	川東
5月6日(月) 13:15~13:30	ふれあいネット西つつじ (映画鑑賞会)	西つつじヶ丘ふれあいセンター	西つつじヶ丘	つつじヶ丘
5月8日(水) 9:40~11:30	ほっと美山	美山台2丁目集会所	西つつじヶ丘美山台2丁目	つつじヶ丘
5月8日(土) 14:00~15:00	京町ほのぼのサロン	京町自治会	京町	亀岡地区中部
5月9日(木) 10:00~13:00	国分ふれあいサロン会	国分区公民館	千歳町 国分・江島里	川東
5月13日(月) 10:00~11:00	月曜サロン	西山区自治会集会所	篠町西山区	篠町
5月14日(火) 13:30~14:00	安町ふれあいサロン	亀岡地区自治会館	安町	亀岡地区西部
5月17日(金) 13:00~13:30	悠遊クラブ	メディアス2集会所	大井町メディアス2番館	中部
5月22日(水) 13:00~13:15	亀岡市囲碁クラブ	亀岡地区自治会館	安町	全域
5月30日(木) 13:30~14:30	亀岡悠友クラブ (老人クラブ)	西町会議所	内丸, 荒塚 西町、紺屋町	亀岡地区中部
6月3日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集会所	篠町西山区	篠
6月3日(月) 13:15~13:30	ふれあいネット西つつじ (映画鑑賞会)	西つつじヶ丘ふれあいセンター	西つつじヶ丘	つつじヶ丘
6月5日(水) 13:00~13:15	亀岡市囲碁クラブ	亀岡地区自治会館	安町	全域
6月7日(金) 13:00~13:30	悠遊クラブ	メディアス2集会所	大井町メディアス2番館	中部
6月11日(土) 14:00~15:00	京町ほのぼのサロン	京町自治会	京町	亀岡地区中部
6月19日(水) 13:00~13:15	亀岡市囲碁クラブ	亀岡地区自治会館	安町	全域

活動日	サロン名	活動場所	対象者地域	圏域
6月21日(金) 13:30~13:45	亀岡市将棋倶楽部	ギャラリー3階	安町	全域
6月25日(火) 14:00~15:00	ちとせさわやか 健康センター	千歳町自治会1階	千歳・馬路 旭・河原林	川東
6月25日(火) 14:00~15:00	第7見晴友の会 「午後の談話室」	第7見晴集会所	第7見晴	篠
6月26日(水) 13:30~15:00	歌声広場「あさひ」	杉区公民館	旭町	川東
6月28日(金) 13:30~13:45	亀岡市将棋倶楽部	ギャラリー3階	安町	全域
7月1日(月) 13:15~13:30	ふれあいネット西つつじ (映画鑑賞会)	西つつじヶ丘ふ れあいセンター	西つつじヶ丘	つつじヶ丘
7月5日(金) 13:00~13:30	悠遊クラブ	メディアス2集 会室	大井町メディア ス2番館	中部
7月5日(金) 13:30~13:45	亀岡市将棋倶楽部	ギャラリー3階	安町	全域
7月8日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集 会所	篠町西山区	篠
7月9日(火) 14:00~15:00	第7見晴友の会 「午後の談話室」	第7見晴集会所	第7見晴	篠
7月10日(水) 13:30~15:00	スイートピー	杉区公民館	旭町	川東
7月13日(土) 14:00~15:00	京町ほのぼのサロン	京町自治会	京町	亀岡地区中部
7月24日(水) 14:00~15:30	ギャラリー元気アップ講座 (高齢福祉)	あんしん長寿セ ンター	全域	全域
8月22日(月) 9:30~11:00	寺子屋 和 (なごみ)	ギャラリー	全域	全域
10月2日(水) 11:45~12:00	大内区ふれあいサロン	大内営農センタ ー	東本梅町 大内	西部
11月17日(日) 13:00~14:30	地域友好の会	東つつじヶ丘曙 台 2丁目 鈴木宅	東つつじヶ丘	つつじヶ丘
12月5日(木) 9:30~14:00	篠町なんたん元気づくり体 操会	篠町自治会	篠町	篠町
12月9日(月) 10:00~11:00	親和会 コミュニティサロン	ひばりが丘区 集会所	ひばりが丘	篠
12月10日(火) 14:00~15:00	第7見晴友の会 「午後の談話室」	第7見晴集会所	第7見晴	篠
12月11日(金) 14:00~15:00	猪倉ふれあいサロン	猪倉公民館	宮前町 地区社協	西部

活動日	サロン名	活動場所	対象者地域	圏域
1月8日(火) 14:00~15:00	第7見晴友の会 「午後の談話室」	第7見晴集会所	第7見晴	篠
1月16日(木) 10:00~11:00	国分ふれあいサロン会	国分区公民館	千歳町 国分・江島里	川東
1月20日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集 会所	篠町西山区	篠
1月22日(水) 14:00~16:00	北河原町ふれあいサロン	保津川団地 第1集会所	北河原町	亀岡地区西部
2月2日(日) 10:00~11:00	江島里ふれあいサロン	江島里区会議所	千歳町 江島里	川東
2月2日(日) 11:00~12:00	高齢者のつどい	出雲台区会議所	千歳町 出雲台	川東
2月3日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集 会所	篠町西山区	篠
2月3日(月) 10:00~12:00	月曜サロン	西山区自治会集 会所	篠町西山区	篠
2月7日(金) 14:00~17:00	介護予防 サポーター講座	京都先端科学大 学	全域	全域
2月8日(土) 13:30~14:30	高齢者地域介護予防活動事 業・研修会	宮川公民館	宮前町 地区社協	西部
2月9日(日) 10:30~11:30	高齢者のつどい	千歳町自治会館 1階	千歳町 中村区	川東
2月9日(日) 13:00~14:00	高齢者のつどい	小口区会議所	千歳町 小口区	川東
2月12日(水) 14:00~15:30	ガレリア元気アップ講座	あんしん長寿セ ンター	全域	全域
2月26日(水) 13:30~14:00	サロン交流会	ガレリア大広間	全域	全域
3月2日(月) 13:30~15:00	介護予防体操サークルすこ やかクラブ	亀岡市総合福祉 センター	内丸	亀岡地区中部
3月16日(月) 9:30~11:00	介護予防体操サークルすこ やかクラブ日吉台	日吉台集会所	千代川	中部

地域サロンでの展開については、亀岡市社会福祉協議会が事務局として、体操冊子の作成やサロンの運営者との日程調整を行ってきました。

導入については、介護予防サポーター講座を修了した有志の会「TUNAGO TETOTE」が体操リーダーとして「健康長寿かめおか」お宝「ノート①・②」を用いて、わかり易く体操を紹介しながら定着を目指しました。この体操冊子は、複数でも単独でも誰でもが取り組みやすく振り返りもできる活用しやすいものになっており、体操が初めてや苦手な方でも取り組みやすい①、運

動内容をバージョンアップさせ曜日ごとに歌って身体を動かす²と参加者の状態に応じた体操を取り入れて楽しめるようになっていきます。

② 京都式介護予防プログラムを亀岡市全域に対して定着させる

亀岡市の介護予防サポーター講座を終了した介護予防サポーターが地域に出向き、対象者に合わせたプログラムで介護予防につながる体操の定着を目指しました。

定着度合については、訪問時の参加者の様子や聞き取り、「健康長寿かめおか”お宝“ノート」の記録により観察・確認したところです。参加者の多くは、体操を覚えておられ継続する大切さも承知されているが自宅等個別での継続は難しいという声が多く聞かれ、サロンへの参加時、リーダーの声掛けにより仲間と共に取り組むことで楽しみながら継続されています。

◎サロン等に向けての町（地区）別取り組み（実施回数と対象者数） 3月末時点

	地区名	サロン名	活動場所	回数	対象者数
1	全域	介護予防サポーター講座	京都先端科学大学	1	32
2	全域	サロン交流会	ガレリア大広間	1	82
3	全域	亀岡市囲碁クラブ	亀岡地区自治会館	3	32
4	全域	亀岡市将棋倶楽部	ガレリア3階	3	15
5	全域	ガレリア元気アップ講座 (高齢福祉)	あんしん長寿センター	2	23
6	全域	寺子屋 和 (なごみ)	ガレリア	1	10
7	亀岡地区 中部	京町ほのぼのサロン	京町自治会	3	13
8	亀岡地区 中部	亀岡悠友クラブ (老人クラブ)	西町会議所	1	21
9	亀岡地区 西部	安町ふれあいサロン	亀岡地区自治会館	1	10
10	亀岡地区 西部	北河原町ふれあいサロン	保津川団地第1集会所	1	15
11	全域	介護予防体操サークル すこやかクラブ	亀岡市総合福祉センター	1	18
12	宮前町	猪倉ふれあいサロン	猪倉公民館	1	15
13	宮前町	高齢者地域介護予防活動 事業・研修会	宮川公民館	1	48
14	東本梅町	ふれあいサロン	大内営農センター	1	32
15	篠町	親和会 コミュニティサロン	ひばりが丘区集会所	1	18

	地区名	サロン名	活動場所	回数	対象者数
16	篠町	午後の談話室 第7見晴友の会	第7見晴集会所	4	10
17	篠町	月曜サロン	西山区 自治会集会所	6	12
18	篠町	篠町なんたん 元気づくり体操会	篠町自治会	1	58
19	西つつ じヶ丘	ふれあいネット西つつじ（映画鑑賞 会）	西つつじヶ丘ふれあいセ ンター	4	60
20	西つつ じヶ丘	ほっと美山	美山台2丁目集会所	1	22
21	東つつ じヶ丘	地域友好の会	東つつじヶ丘曙台2丁目 鈴木宅	1	19
22	大井町	悠遊クラブ	メディアス2 集会所	4	8
23	千代川 町	介護予防体操サークル すこやかクラブ日吉台	日吉台集会所	1	8
24	千歳町	江島里ふれあいサロン	江島里区会議所	1	19
25	千歳町	高齢者のつどい	出雲台区会議所	1	25
26	千歳町	高齢者のつどい	千歳町自治会館1階	1	18
27	千歳・ 馬路 旭・河 原林	ちとせさわやか 健康センター	千歳町自治会1階	1	25
28	千歳町	高齢者のつどい	小口区会議所	1	18
29	千歳町	国分ふれあいサロン会	国分区公民館	2	16
30	旭町	歌声広場「あさひ」	杉区公民館	2	17
31	旭町	スイートピー	杉区公民館	1	6

今年度末までの展開箇所は13地区・全域対象団体7か所・元気アップ12教室（南つつじヶ丘地区は2教室）、対象者は725名となりました。地域サロンへの体操訪問を継続的に行い、定着を目指した活動に関わった介護予防サポーターは11名、活動回数は89回となっています。

昨年度から活動している介護予防サポーターについては、市社協が事務局として調整しながら自主的な市民活動としての組織化に向けて醸成を図ってきたところです。

毎月定例会を開催し、活動内容の調整やお宝ノートの作成を行い体操についても共に研鑽を重ねてきました。年度当初には、介護予防サポーター有志の会のグループ名が「TUNAGO TETOTE」に決定しロゴ入りTシャツも作成するなど積極的に活動をすすめ年度末には、ボランティアグループとして自主的な取り組みを進めることで合意しました。

◎担い手介護予防サポーター「TUNAGO TETOTE」の取り組み

日時	主な内容	出席者数	活動場所
4月18日	本年度の取り組み お宝ノートの製本	11	ふれあいプラザ 世代間交流室
5月28日	お宝ノート製本 マニュアル、会議の定例化について	10	ふれあいプラザ 世代間交流室
6月25日	お宝ノート②の作成について 介護予防サポーター講座について	11	ふれあいプラザ 世代間交流室
7月30日	活動報告と予定 お宝ノート②の作成について 介護予防サポーター講座について	12	ふれあいプラザ 世代間交流室
8月27日	自己紹介 介護予防サポーター講座について	14	ふれあいプラザ 世代間交流室
9月24日	お宝ノート冊子制作 今後の展開と定着確認について	10	ふれあいプラザ 世代間交流室
10月29日	お宝ノートの紹介と体験	15	ふれあいプラザ 世代間交流室
11月26日	介護予防サポーター講座について お宝ノートの活用について	8	ふれあいプラザ 世代間交流室
12月24日	介護予防サポーター講座について お宝ノートについての確認事項	10	ふれあいプラザ 世代間交流室
1月28日	来年度に向けてボランティアグループとしての 自立・活動について 活動報告と予定	7	ふれあいプラザ 世代間交流室
2月24日	介護予防サポーター講座の振り返り 活動報告と予定	11	ふれあいプラザ 世代間交流室
12月24日	介護予防サポーター有志の会の来年度の方向 性について	2	ふれあいプラザ 世代間交流室
3月24日	ボランティアグループとしての取り組みにつ いて意見交換	12	ふれあいプラザ 世代間交流室

(7) 福祉生活課題解消支援事業

地域における深刻な生活課題に向けた取り組みとして、既存の福祉サービスでは対応困難な事案の解決に向け、行政をはじめ関係機関とのネットワークにより、取り組む体制を構築する事ができました。

災害を地域力や自助・つながりなど地域づくりの視点から考える機会として開催した講演会には、約90名の参加があり、実際に活動された2名の体験談を聞く中で新たに災害ボランティアセンターに8名の登録がありました。また、講演を通して、普段の地域の活動や住民のかかわりが災害時の住民避難や被災からの復旧にも大きく反映されることを参加者に理解していただくことができました。

(8) 社会的孤立防止対策見守り活動事業

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人を地域全体で支える基盤づくりを目指し、地域福祉の推進を図ります。また、社会的孤立が危ぶまれる人の「発見」、発見された人を適切な機関に「つなげる」、またどこにもつながらない人や地域との関わりを拒否している人などを「見守る」ためのシステム(ネットワーク)づくりを目的としています。

ア. 地域福祉コミュニティ推進のための事業

① 地区社会福祉協議会の推進及び支援

会議の出席・研修会参加の促進・助成金支援等、各地区の活動への支援を積極的に行いました。(会議3回・研修会1回)

【設立されている地区社協】

- ・保津町社会福祉協議会 (昭和39年4月設立)
- ・亀岡地区社会福祉協議会 (昭和51年5月設立)
- ・曾我部町地区社会福祉協議会 (平成5年4月設立)
- ・吉川町地区社会福祉協議会 (平成18年3月設立)
- ・本梅町地区社会福祉協議会 (平成18年11月設立)
- ・蒔田野町地区社会福祉協議会 (平成20年2月設立)
- ・篠町地区社会福祉協議会 (平成21年3月設立)
- ・宮前町地区社会福祉協議会 (平成22年11月設立)
- ・亀岡地区東部社会福祉協議会 (平成22年12月設立)
- ・東つつじヶ丘地区福祉協議会 (平成23年3月設立)
- ・南つつじヶ丘地区社会福祉協議会 (平成23年10月設立)
- ・亀岡地区中部社会福祉協議会 (平成24年2月設立)

② 社会的孤立が危ぶまれる人への理解の推進

各地域の住民向け、サロン参加者など、小さい単位で地域に出向き、孤立しがちな高齢者や、災害時の要配慮者への理解を求める講座を開催。また、福祉出前講座として、見守り通報活動への協力を求めた。(講座回数8回)

地区社会福祉協議会の推進及び支援及び社会的孤立が危ぶまれる人への理解の推進		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年5月19日(月) 20:00~20:50	曾我部町地区社会福祉協議会 「総会」	曾我部町自治会 48名

地区社会福祉協議会の推進及び支援及び社会的孤立が危ぶまれる人への理解の推進		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 6 月 27 日(木) 20:00～21:00	本梅町地区社会福祉協議会 「総会」	ほんめ町ふれあいセンター 33 名
令和元年 7 月 14 日(日) 10:00～12:00	蕨田野町地区社会福祉協議会 「認知症サポーター養成講座」	蕨田野町自治会 70 名
令和元年 8 月 3 日(土) 10:00～11:30	亀岡地区東部社会福祉協議会 「ボランティア養成講座」	古世総合センター 11 名
令和元年 8 月 21 日(水) 13:30～15:00	亀岡地区社会福祉協議会 「オレンジカフェ」	亀岡地区西部自治会 15 名
令和元年 10 月 6 日(日) 8:30～12:00	蕨田野町地区社会福祉協議会 「認知症サポーター養成講座」	蕨田野町鹿谷区公民館 50 名
令和元年 11 月 4 日(月) 9:00～12:30	川東地区民児協 「避難訓練」	馬路町生涯学習センター 54 名
令和元年 11 月 24 日(日) 10:00～11:30	蕨田野町地区社会福祉協議会 「ふれあい声かけ訓練」	鹿谷区内 50 名
令和元年 11 月 26 日(火) 10:00～11:00	更生保護女性会保津ブロック 「認知症サポーター養成講座」	保津町公民館 11 名
令和 2 年 1 月 28 日(火) 13:30～15:30	地区社会福祉協議会会長会 「自分の地域をみつめなおす- 地域の強みの活かし方を考える-」	たなばたの郷 地域交流スペース 43 名
令和 2 年 1 月 30 日(木) 16:00～17:00	亀岡市環境事業公社 「認知症サポーター養成講座」	桜塚クリーンセンター 36 名
令和 2 年 2 月 8 日(土) 13:30～15:10	宮前町地区社会福祉協議会 「介護予防活動事業・研修会」	宮前町公民館 48 名

③ 地域サロン活動の推進

亀岡市内において、各地域でサロン活動が活発に行われ広がりを見せ、訪問し支援を行いました。(訪問回数 29 回)

イ. 地域の共助の取り組み及び孤立防止対策のための相談支援事業

福祉総合相談窓口への相談内容は、「家族のこと」「健康のこと」「近隣住民のこと」など、多岐にわたり、相談者の年齢層も若者から高齢者まで幅広くありました。相談者の

孤独感を解消することに重点をおき、関係機関と連携しながら解決に向けて取り組むとともに、電話による状況確認、訪問など継続的でさりげない見守りを行いました。

相談件数 57 件 対応回数 80 件（昨年度比：相談+7 件 / 対応+18 件）

ウ. 見守りサポーターの養成

要配慮者の見守り支援を行うサポーター(社協寄り添いサポーター)の養成と活動充実。定例会の開催と研修会において、活動についての話し合いや、技術の向上を図りました。

活動実績としては、関係機関との連携による面談やマッチングを行い、訪問活動を 2 件対応しました。また、今年度新たに活動者の登録が 1 名ありました。

見守りサポーターの養成		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 7 月 16 日(火) 10:30~12:00	第 1 回定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 5 名
令和元年 11 月 11 日(月) 10:00~15:30	第 2 回定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 7 名
令和 2 年 2 月 21 日(金) 10:00~12:30	第 3 回定例会議	ふれあいプラザ世代間交流室 6 名

エ. 青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業

見守りの対象者となりがたい人への支援として、ひきこもり家族教室の開催（年 5 回実施、参加人数のべ 32 人）とともに、個別相談などの個別ケースへの対応を行いました。また、福祉関係、教育関係など、支援機関同士のつながりを目的とした「なんたん子ども若者ネットワーク会議」、連携強化のための「なんたんユース HUB 会議」の開催など、関係機関との連携のための体制ができました。また、ひきこもりに係る相談支援の強化・拡充を行い、チラシの全戸回覧、公式 LINE の開設を行いました。総合相談窓口での、ひきこもりに関する相談は 8 件でした。

《青少年、高齢者、見守り対象となりがたい年代も含めたひきこもり支援に係る事業》		
◎ひきこもりに係る相談支援の強化・ひきこもり教室などの支援事業の実施		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 6 月 29 日(土) 13:30~15:45	第 1 回家族教室 「ひきこもり支援講座」	ふれあいプラザ世代間交流室 5 名
令和元年 8 月 23 日(金) 13:30~15:30	第 2 回家族教室 「パステルアート」	ふれあいプラザ世代間交流室 3 名

◎ひきこもりに係る相談支援の強化・ひきこもり教室などの支援事業の実施		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 10 月 25 日(金) 13:30~15:30	第3回家族教室 「ビデオ学習」	ふれあいプラザ世代間交流室 6名
令和元年 12 月 21 日(火) 13:30~15:30	第4回家族教室 「クリスマス会」	ふれあいプラザ世代間交流室 2名
令和2年 2 月 28 日(金) 13:30~15:30	第5回家族教室 「経験者の講話」	ふれあいプラザ世代間交流室 8名
◎各支援機関との連携		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 4 月 11 日(木) 10:30~12:00	第1回なんたんユース HUB 会議	第3相談室 7名
令和元年 6 月 6 日(木) 10:30~12:00	第2回なんたんユース HUB 会議	学びの森 7名
令和元年 6 月 6 日(木) 19:30~21:00	中部民児協 定例会	吉川町自治会 44名
令和元年 6 月 11 日(火) 14:00~16:00	キャラバンメイト会議	ガレリアかめおか研修室 18名
令和元年 6 月 27 日(木) 10:00~12:30	なんたん子ども若者ネットワーク会 議	南丹振興局 22団体 34名
令和元年 7 月 4 日(木) 13:30~17:30	絆ネットワーク見守り活動連絡会	京都テルサ
令和元年 7 月 11 日(木) 19:30~21:30	中部民児協 定例会	千代川町自治会 40名
令和元年 7 月 27 日(土) 13:00~16:00	なんたんラウンドテーブル	学びの森 15名
令和元年 8 月 1 日(木) 10:30~12:00	なんたんユース HUB 会議	若者サポートステーション 7名
令和元年 10 月 3 日(木) 10:30~12:00	なんたんユース HUB 会議	第3相談室 8名

◎各支援機関との連携		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年 10 月 8 日(火) 13:30～15:30	女性の相談ネットワーク会議	市役所 20 名
令和元年 10 月 30 日(水) 13:30～14:35	亀岡市地域福祉関係者会議	市役所 19 名
令和元年 10 月 31 日(木) 10:00～12:20	なんたん子ども若者ネットワーク会議	南丹振興局 25 団体 35 名
令和元年 11 月 16 日(土) 13:00～16:15	なんたんラウンドテーブル	学びの森 6 名
令和元年 12 月 5 日(木) 13:30～12:10	なんたんユース HUB 会議	学びの森 6 名
令和元年 12 月 13 日(金) 10:00～12:00	こどもの城づくりネットワーク会議	南丹市国際交流会館
令和 2 年 1 月 29 日(水)	わかくさネットかめおか視察	
令和 2 年 2 月 6 日(木) 10:30～12:10	なんたんユース HUB 会議	若者サポートステーション 6 名
令和 2 年 2 月 18 日(火) 14:00～16:00	キャラバンメイト会議	ギャラリーかめおか研修室 16 名
令和 2 年 2 月 21 日(金) 13:30～16:30	地域共生社会研修会	こどもみらい館
令和 2 年 2 月 25 日(火) 13:30～17:00	ひきこもり支援対応強化研修	ギャラリーかめおか

オ. 対応した要配慮者に関する定期的なケース検討会議の実施

月に 1 回、市と社協の担当者で会議を行い、事業の進行状況の確認と、個別ケースについて話し合いを行いました。

カ. 地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業

サロン活動者対象の研修・交流会を開催し、活動への意欲と意識を高めることができました。サロンを楽しく魅力あるものにするために協力していただけるボランティア団体の紹介も行い、サロン活動者同士が交流し、ヒントを得て新たな活動のきっかけ作りの機会となりました。また、アンケート調査も行い地域のニーズを把握することができました。

移送支援のニーズが地域で高まっている事もあり、今年度は移送支援について考える講座を3回シリーズで開催しました。制度のことや、実際に活動している団体の講演など、自分の住んでいる地域について考えていただきました。

また、第8回きょうと地域福祉活動実践交流会に参加し、地区社協、自治会役員の方々に案内することで、自分たちの地域でできることを考えてもらうきっかけになりました。

地域の福祉ニーズ、それらに対応する地域資源の状況などを把握するために行う事業		
日 時	内 容	場所・参加人数
令和元年6月20日(木) 13:30~16:30	移送支援セミナー①	ギャラリーかめおか 60名
令和元年7月25日(木) 13:30~15:30	移送支援セミナー②	ふれあいプラザ世代間交流室 20名
令和元年9月26日(木)	移送支援セミナー③	ふれあいプラザ世代間交流室 19名
令和元年12月7日(火) 12:00~16:00	第8回きょうと地域福祉活動 実践交流会	京都丹後文化会館・峰山地域公 民館 16名
令和2年2月26日(水) 13:00~15:30	サロン活動者研修交流会	ギャラリーかめおか 37団体 82名

【事業成果】

相談員や寄り添いサポーターの訪問活動、地域の民間事業所への協力の要請等により、地域で孤立状態になることを防ぐための見守り体制づくりを進めると同時に、関係機関、行政と連携しながら支援を行う体制の構築ができました。

ひきこもり等、制度の狭間で公的支援が受けにくい人への支援を、構築したネットワークを利用しながら進められたことは、大きな成果となっています。

また、地域のニーズに応えるため講座として、移送支援について考える機会を持つことができました。今後も住民ニーズに合った情報提供を行いながらすすめていきます。

(9) 福祉用品貸出事業

① 介護用品等貸出事業

- ・ベッド貸出 31件 (平成30年度 37件)
- ・車イス貸出 155件 (平成30年度 146件)

② レクリエーショングッズ等貸出事業

○貸出実績

(単位：回)

用 品	サロン	子ども会	自治会・ 地区社協	福祉施設	福祉協力校 (体験学習)	その他	合 計
安全ボーリングセット	4	1				3	8
輪投げセット	6	4				2	12
マグダーツ	4		1	1		2	8
バスケットビンゴ	6	3		1		5	15
お手玉ボード	6	1	1	1		1	10
ターゲットゲーム	1	3				4	8
カーリンコン						1	1
室内グラウンドゴルフ	2		1			1	4
ボッチャ	3			1		1	5
たいこ相撲	1			1			2
ジャンボトランプ	2					3	5
オセロ							0
古里かるた	3						3
江戸いろはかるた							0
ジャンボサイコロ	2	1	1			1	5
ドレミパイプセット	2						2
ビンゴ	1						1
デジタルビンゴ	2						2
サンタ衣装		1				2	3
クリスマスツリー							0
着ぐるみ			3			4	7
プロジェクター	3					9	12
ケーブル							0
スクリーン	3					6	9
DVDプレーヤー							0
マイクスタンド							0
マイクアンプ (スピーカー)	1		1				2
マイク	1		1				2
ポップコーン機							0
綿菓子機		2	4	3		5	14
きね	1		1			3	5
うす	1		1			2	4
もち切り器	1		1			1	3
蒸し器・蒸し布	1		1			2	4
ざる			1				1

用 品	サロン	子ども会	自治会・ 地区社協	福祉施設	福祉協力校 (体験学習)	その他	合 計
もち箱						1	1
募金箱置型							0
募金箱手持型						1	1
展示パネル			1				1
紅白幕				1			1
テント				1		1	2
イス	1						1
机	1						1
高齢者体験グッズ				3	3	1	7
車椅子(体験学習用)					10	1	11
車椅子用スロープ							
アイマスク					1		1
白杖					3		3
DVD (なんたん元気づくり体操・高 齢者期は食べ盛り)							0
その他							0
合 計	59	16	19	13	17	63	187

3. ボランティア活動支援事業

(1) ボランティアセンター運営事業

亀岡市ボランティアセンターには、福祉に関わりの深いボランティアグループと個人ボランティアが登録され、亀岡市の地域福祉や福祉教育の推進のため活動をしています。

＜ボランティアセンター登録数＞

- ・個人ボランティア 18名（令和元年度登録数）
- ・ボランティアグループ 30グループ

① ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援

- ・ボランティア7の日

ボランティアグループ、個人ボランティアの方々を対象とし「ボランティア7の日」事業を開催しました。

パソコン講座の開催を広報し参加者を募集しました。申し込み者を対象に、チラシの作り方や、表計算を学んでいただき、それぞれのスキルアップとボランティア活動のレベルアップの支援をおこないました。ボランティアグループ同士の繋がりや関係作りをめざしました。

開催日：令和元年7月7日（日）～令和2年2月27日（月）年間4回開催

参加者数：延べ人数32名

内容：「チラシを作ろう」「表計算の基礎」「名刺づくり」他

②ボランティアグループ運営相談・助成金相談

常時運営相談や助成金申請の相談支援を行っています。

③集めて送るボランティア・ボランティア活動の推進

市民の方から寄せられた使用済み切手、プリペイドカード、書き損じはがきを、活動内容を事前に確認の上で、環境保護団体やハンディキャップのある子ども達を支援している団体に支援として適時送っています。

令和元年度、約 584,000 個（昨年比+104,000 個）のエコキャップが寄せられ、保険医療の恵まれない地域の子も達や被災者支援の団体に送り、730 人分のポリオワクチンとして支援に使われました。またプルタブは、526.9Kg（昨年比：△53.8kg）寄贈いただきましたが、総重量から送料として 254.1 kg 差し引かれ今年度累計 272.8Kg となりました。3 年間で 800kg を集めて車いすを寄贈していただき、市民の方への貸出に使っています。

④ボランティアの派遣調整（マッチング）

市民や福祉施設、各地のサロン等からのボランティアの派遣要請に対し、ボランティアグループや個人ボランティアを紹介しています。

この数年の中でボランティアセンターの周知も進み、依頼件数も増えています。

ボランティア活動への支援内容	H29	H30	R1
ボランティア派遣依頼（アトラクション等）	35	55	68
ボランティア派遣依頼（傾聴・健康講話等）	7	18	8
ボランティアグループ 運営相談支援	10	5	2
ボランティアを始めたい方への相談援助	3	14	11
その他ボランティア全般に関する相談	2	2	5
合 計	57	94	94

(2) 各種団体主催のボランティア講座・研修へ講師の派遣

講 座 名	開 催 日 時・場 所
亀岡地区東部地域住民講座 ～地域支援ボランティア講座～	日時：令和元年 8 月 3 日（土）10：00～12：00 場所：古世総合センター

【事業成果】

ボランティア 7 の日としてパソコン教室を開催することによって、ボランティア同士のつながり作りや事務力向上につながりました。

気軽にできるボランティアとしてのプルタブやエコキャップの収集も昨年度と比べ増加傾向にありますが、プルタブについては寄贈重量の 1/3 が送料に充たってしまうなど厳しい状況になっています。

派遣依頼の件数も増え、新たにボランティアに取り組みたい方の相談もありました。

(3) 災害ボランティアセンターの運営・活動

○設立 平成24年9月1日

○目的 地震や水害などの災害発生時に、被災地での支援活動に従事する「災害ボランティア」を受け入れ、被災者のニーズを把握し災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となる。

「被災者の日常生活への復旧支援」を目的に、災害時のボランティア活動を効果的・効率的に行うために平常時から訓練等を実施し、住民の防災・減災及びボランティア活動への意識向上を図っています。

【災害ボランティアセンター活動内容】

年 月 日	項 目	内 容
平成31年 4月18日(木)	平成31年度亀岡市総合防災訓練に係る 第1回関係者担当者会議に参加する (場所：亀岡市役所)	議事 (1) 平成29年度総合防災訓練の実施について (2) 平成31年度総合防災訓練の基本方針について (3) 平成31年度総合防災訓練の実施内容について (4) その他 事務局長・地域福祉係主事の2名参加
令和元年 6月6日(木)	令和元年度亀岡市総合防災訓練に係る 第2回関係者担当者会議に参加する (場所：亀岡市役所)	議事 (1) 訓練全体計画(案) (2) 訓練助スケジュール(案)について (3) 会場レイアウト(案)について 事務局長、地域支援課長、地域福祉係主事の3名参加
6月7日(金)	京都府市町村社協南丹ブロック 災害ボランティアセンターに関する締結式 (亀岡市社会福祉協議会世代間交流室)	南丹市、京丹波町、亀岡市の2市1町が、災害時の協力体制を取るため、相互協力に関する協定を締結した。 会長、事務局長、社協職員の参加
6月8日(土)	平成31年度京都府災害ボランティアセンター総会に参加する (場所：京都府立京都学・歴彩館)	・平成30年度事業報告(案)・決算(案)について ・令和元年事業計画(案)・予算(案)について ・京都府災害ボランティアセンター規約の変更について ・令和元年度役員体制について 事務局長参加

年 月 日	項 目	内 容
6月19日(水)	令和元年災害ボランティアセンター運営委員会を開催する (場所：亀岡市社会福祉協議会)	・平成30年度事業報告(案)・決算(案)について ・令和元年事業計画(案)・予算(案)について ・令和元年亀岡市総合防災訓練の参加について ・平成30年度7月豪雨・9月短期集中豪雨対応の報告 運営委員8名・事務局3名参加
6月21日(金)	令和元年度市町村社協災害ボランティア担当者会議に参加する (場所：ハートピア京都)	・令和元年度京都府社協及び災害ボランティアセンターの取組について ・令和元年度D-WATの取組について ・令和4年度を想定した無線機の取り扱いについて ・各市町村災害VCより実践報告 ○地震災害を想定した災害VC運営訓練及び様式作成について(報告：京丹波町災害VC) ○事前登録制を活用した協力者の育成にかかる仕組みについて(報告：福知山災害VC) ○ブロック単位での災害時対応を想定したネットワーク作り(報告：伊根町災害VC) 事務局長参加
7月3日(水)	令和元年度亀岡市総合防災訓練に係る第3回関係者担当者会議に参加する (場所：亀岡市役所)	議事 (1) 訓練全体計画(案)について (2) 訓練スケジュール(案)について (3) 会場レイアウト(案)について 事務局長・地域支援課長・地域福祉係主事の3名参加
7月29日(月)	第1回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する (場所：南丹市社会福祉協議会)	【開催趣旨】 南丹ブロック社協の災害時の災害VCの相互協力に関する協定に基づいて、平時にできることを考え、実践につなげる。 (1) 各社協の取り組みや平時の活動状況の共有 (2) 相互協定に向けての今後の取り組みについて 合同訓練について 合同訓練以外の取り組みについて協力してできることについて話し合う マニュアルの共有 (3) その他 次回会議の日程確認 地域支援課長・地域福祉係主事の2名参加

年 月 日	項 目	内 容
7月30日(火) 31日(水)	令和元年近畿ブロック社協災害支援 研修 (ひと・まち交流館京都)	『令和元年近畿ブロック社協災害支援者研修～ 社協の「受援力」「活援力」を活かした支援とは ～』に基づき行われた。 事務局長参加
8月1日(木)	令和元年度亀岡市総合防災訓練に係 る第4回関係者担当者会議に参加す る (場所：亀岡市役所)	議事 (1) 訓練シナリオについて (2) 訓練詳細打ち合わせについて (3) その他 事務局長・地域支援課長の2名参加
8月20日(金)	第2回 3社協の災害ボランティアセンター の相互協力に関する打ち合わせに参 加する (場所：南丹市社会福祉協議会)	(1) 前回の振り返り (2) 合同訓練について (3) その他 次回会議の日程確認 地域支援課長・地域福祉係主事の2名参加
8月22日(木)	令和元年度亀岡市総合防災訓練に係 る5回関係者担当者会議に参加する (場所：亀岡市役所)	議事 (1) 訓練全体計画最終確認 (2) 訓練スケジュール最終確認 (3) 会場レイアウト最終確認 (4) 訓練シナリオ最終確認 事務局長・地域支援課長・地域福祉係主事の3 名参加
8月23日(金)	亀岡市東別院小学校サマーキャンプ に参加 (場所：七谷川野外活動センター)	東別院小学校が開催されたサマーキャンプに参 加し、防災についての学習を行った。 京都府災害ボランティアセンターにも協力依頼 をし、京都学生ファースト(大学生消防防災サー クル)の学生2名も参加、防災紙芝居と防災カル タを使って子どもたちに防災について学ぶ機 会を提供した。 非常食については社協職員が講義・体験学習を行 い、災害時に必要な非常食のストックの方法等 の提供や試食を行った。 子供たちに、楽しく防災について学ぶ機会を提 供できた。 参加生徒：12名(4～6年) 京都府災害VC職員1名、学生ファースト2名 地域支援課長・地域福祉係主事の2名参加

年 月 日	項 目	内 容
9月1日(日)	京都府総合防災訓練に参加する (長岡京市立長岡第9小学校)	京都府総合防災訓練「長岡市災害ボランティアセンター設置、運用訓練」の、情報発信訓練の講師として参加する。 ①亀岡市社会福祉協議会での災害時FBの活用について ②FB運用訓練(3Gに分かれて訓練の様子をFBで発信) 事務局長、総務管理係長の2名参加
9月7日(日)	令和元年亀岡市総合防災訓練に参加する (場所:亀岡市保津橋桂川左岸河川敷)	亀岡市災害ボランティアセンターの開設・運用訓練を行った。 また、展示ブースを設け、豪雨災害パネル展・災害ボランティアパネル展示・土嚢袋にメッセージを書こうコーナーなど、災害ボランティア募集コーナーなど、来場者の市民の方(子供さん含み)に亀岡災害ボランティアセンターの活動を知っていただき、防災減災の意識を高めていただく取組みを行なった。 亀岡市社会福祉協議会職員18名(内実習生1名) 災害ボランティア登録者16名 亀岡市職員7名 計41名の参加
9月20日(金)	第2回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する (場所:南丹市社会福祉協議会)	(1)前回の振り返り (2)合同訓練について (3)その他 次回会議の日程確認 地域支援課長・地域福祉係主事の2名参加
9月28日(土)	令和元年度向日市防災訓練参加 向日市災害ボランティアセンター設置運営訓練 (場所:向日市立向陽小学校及び寺戸事務所)	向日市災害ボランティアセンター設置運用訓練に参加させていただく。 ○災害ボランティア本部運営訓練 ○災害ボランティアテントの運営 ○サテライト訓練 地域福祉係長、総務課主事の2名参加
10月3日(木)	令和元年度亀岡市総合防災訓練に係る6回関係者担当者会議に参加する (場所:亀岡市役所)	議事 (1)訓練の総括について (2)その他 事務局長・地域福祉係主事の2名参加

年 月 日	項 目	内 容
10月27日(日)	「第32回市民福祉のつどい」災害ボランティアコーナーを設置する (場所：ガレリアかめおか)	亀岡市社会福祉協議会主催で行う市民福祉のつどいで、 亀岡市災害ボランティアセンターのコーナーを設置、 平成30年7月豪雨・9月短期集中豪雨時のボランティア活動の紹介や、 コーナー担当職員2名参加
11月4日(月・祝)	川東地区災害時における要配慮者支援模擬訓練に参加する (場所：馬路町生涯学習センター)	民生児童委員・主任児童委員が非常災害時に、地域住民の中で非難に時間を要する人を救助し避難所まで誘導を行う訓練と、避難所を開設する模擬体験を実施することを目的に実施された。 民生委員さんの実際の動きの確認、車いすの使い方体験 高齢福祉課長による避難所開設時の要配慮者支援について講義、討論会、亀岡消防による非常時の担架の使い方、非常食体験を通して、民生委員さんとの連携や、災害ボランティアセンターとしての役割の再確認が出来た。 地域支援課長、地域福祉係長の2名参加
11月5日(火)	第3回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する (場所：南丹市社会福祉協議会)	議事 (1) 訓練日程について (2) 訓練内容について (3) 今後について 次回会議の日程確認 地域支援課長・生活支援係長の2名参加
11月16日(土)	令和元年度京丹波町災害ボランティアセンター町民講座に参加する (京丹波町山村開発センターみずほ)	京丹波町が開催した令和元年度京丹波町災害VC住民講座に参加し、京丹波町の災害に関する取り組みや、「子育てから介護まで、今日から絶対に役に立つアウトドア流×防災講座」について学んだ。 事務局長・地域支援課長・地域福祉係長の3名参加

年 月 日	項 目	内 容
11月26日(火)	京都府災害ボランティアセンタートップセミナー 1日目 (場所：ハートピア京都)	～災害時における危機管理「BCP（事業計画マニュアル）」 を通じたセンター機能強化を目指して～ 市町村災害ボランティアセンターは、災害発生時に円滑な非常事体制への移行と運営継続が求められます。 このセミナーでは、2日間の講義と演習を通して「BCP（事業継続計画）」の策定の手法について学び、災害時における業務の点検と洗い出しを行いながら、市町村災害ボランティアセンターの機能強化を図るために「BCP」の策定に繋げていく。 事務局長参加
12月15日(日)	亀岡市災害ボランティアセンター講座を開催する (場所：ガレリアかめおか大広間)	災害を地域づくりの視点から考える機会として講演会を開催しました。 基調講演「災害があった時に、地域でどう支えあうか」 講師 (福) 群馬県榛東村社会福祉協議会職員 Nukiito代表 高山 弘毅様 報告「災害ボランティア活動から見える地域力」 京都府災害ボランティアセンター初動支援員 宮城 光夫様 クロージング 「普段の取り組みつながりで地域力をつける」 高山 弘毅様 参加者：86名 社協職員17名対応
令和2年 1月20日(月)	第4回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する (場所：南丹市社会福祉協議会)	議事 (1) 災害ボランティアセンター合同訓練について ・訓練日時 ・訓練会場 ・訓練参加者 ・訓練内容 ・準備スケジュール ・準備、当日運営管理の分担 ・訓練振り返り、検証 (2) その他 地域支援課長・地域福祉係主事の2名参加

年 月 日	項 目	内 容
1月24日(木)	京都府災害ボランティアセンタートップセミナー (2日目) (場所：ハートピア京都)	～災害時における危機管理「BCP(事業計画マニュアル)」 を通じたセンター機能強化を目指して～ 市町村災害ボランティアセンターは、災害発生時に円滑な非常事体制への移行と運営継続が求められます。 このセミナーでは、2日間の講義と演習を通して「BCP(事業継続計画)」の策定の手法について学び、災害時における業務の点検と洗い出しを行いながら、市町村災害ボランティアセンターの機能強化を図るために「BCP」の策定に繋げていく。 事務局長参加
2月13日(木)	第5回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する。 (場所：南丹市社会福祉協議会)	議事 (1) 合同訓練について 訓練実施日：令和2年6月27日(土) 訓練会場：南丹市日吉はとぴあ サテライト開設の場合は南丹市防災倉庫 訓練参加者：3社協職員 訓練内容：地震災害を想定し、被災から7日後に開設したボランティアセンターの運営を行う。 地域支援課長、地域福祉係主事の2名参加
3月18日(水)	第6回 3社協の災害ボランティアセンターの相互協力に関する打ち合わせに参加する。 (場所：南丹市社会福祉協議会)	新型コロナウイルス感染防止のため中止となる。 メールにて内容確認させていただき、次期合同訓練に向けての共通認識を持つ。

※ ニーズの把握、ボランティアの募集、活動内容については、社協ホームページ・フェイスブックで行っています。また、ボランティアの募集については府災害ボランティアセンターのホームページでも行っています。

【事業成果】

近年の台風や集中豪雨による風水害や地震など、広域に渡って被害をもたらす自然災害が頻発しています。一昨年は亀岡でも7月豪雨・9月短期集中豪雨による被害がありました。このような状況の中、災害から改めて見えてきたのが「日頃からの取り組みやつながり」の大切さです。自助として、普段からどのような取り組みをしていけばよいのか、共助として普段からどのようなつながりを作って行けばよいのかなど、災害を地域づくりの視点から考える機会を提供できました。

また、災害時における近隣との協力体制を構築するため、京都府市町村社協南丹ブロック（南丹市・京丹波町・亀岡市）の2市1町が、災害時の協力体制を取るため、相互協力に関する協定を締結することができました。

4. 福祉教育

市内の小中学校(計 21 校)に対して合計 42 回ボランティア・福祉体験を実施しました。

(1) 障がい者・高齢者理解と福祉ボランティア体験事業

亀岡ボランティア連絡協議会や社会福祉施設、障がい者団体の協力を得て、児童・生徒を対象に、福祉教育の一環としてボランティア・福祉体験や講演を通して、障がい者・高齢者への理解等、福祉への理解を深める事業を実施しました。

(2) 夏休み社会福祉体験学習事業

夏休み期間中に中学生・高校生が、社会福祉施設や地域の様々な活動の場に参加し、子どもや高齢者、障がいのある人たちとのふれあいや交流などを通して、いのちの尊さや思いやり、やさしさ、人としての本当の強さを考える機会として実施しました。

・社会福祉体験学習の実施内容

- ・期 間 : 令和元年 8 月 2 日 (金) ~ 24 日 (土) のうち 3 日間
- ・参加人数 : 22 名 (中学生・高校生) (昨年度比: +13 名)
- ・体 験 先 : 高齢、児童、障害者施設の中から 1 ヶ所若しくは複数個所を体験

5. 各種団体への支援

① 亀岡市社会福祉施設協議会

市内における災害時の対応や地域貢献について、また、地域福祉・在宅福祉の増進に寄与するため各施設に関わる諸問題について役員会や総会・施設見学と情報交換会を開催する中で共有・協議しながら施設相互の連絡調整を図り、諸機能の充実強化を進めています。

日 時	事 業 名	内 容
令和元年 8 月 26 日 (月)	施設見学と情報交換会	亀岡園 見学 講演「防災対策について」 施設見学・浄水装置の説明
9 月 7 日 (土)	亀岡市総合防災訓練	災害ボランティアセンター開設時のボランティア活動一連
10 月 27 日 (日)	市民福祉のつどい	いけばなりサイクルアート
11 月 30 日 (土)	歳末たすけあい街頭募金	市内量販店前、スーパーマーケット、 JR 亀岡駅、ホームセンター等
令和 2 年 1 月 16 日 (木)	施設見学と意見交流会	第三かめおか作業所 見学 現状報告 意見交流、施設見学

② 亀岡ボランティア連絡協議会

亀岡市社会福祉協議会に登録しているボランティア及びボランティアグループを統括し、関係機関と連携を図りながら、開催事業の計画及び実施を行っています。

日 時	事 業 名	内 容
10月27日 (日)	市民福祉のつどい	・喫茶コーナー、ボランティア体験コーナー
11月30日 (土)	歳末たすけあい運動 街頭募金	・市内量販店前、スーパーマーケット、JR 亀岡駅、ホームセンター等

その他、市内小・中・高等学校への福祉教育・ボランティア体験学習への講師派遣、行政・障害者福祉団体への協力を行っています。

③ 亀岡市障害児者を守る協議会

亀岡市における障がい児者福祉の向上を目指し、学習会・研修会・事業などを展開し、障がい児者福祉への理解と発展のため積極的に取組まれています。会員は約 215 家族。会議の出席・事業の支援を行っています。

④ 亀岡市老人クラブ連合会

亀岡市老人クラブ連合会は、亀岡市内の各地域 51 の老人クラブが加盟する約 2450 名の組織です。その事務局として、年間を通じて行われるいろいろな行事の開催援助や、事業活動・団体運営の援助等を日常的に行っています。

令和元年度 事業日程報告 (平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

日 時	事 業 名	内 容	備 考
平成 31 年 4 月 4 日 (木)	監査	監査	社協相談室 3
4 月 11 日 (木)	正副会長会・監査	前年度事業総括	社協相談室 3
4 月 18 日 (木)	理事会 (旧役員)	前年度事業報告・決算報告・監査報告	社協世代間交流室
4 月 25 日 (木)	正副会長	前年度事業報告・決算報告・監査報告・友愛活動助成金配布 等	社協相談室 3
4 月 26 日 (金)	会報発行	「市老連かめおか」第 18 号発行 2,900 部	株式会社ニチコミ
5 月 9 日 (木)	単位クラブ会長会	前年度事業報告・決算報告・監査報告・友愛活動助成金配布 等	ギャラリーかめおか 大広間
5 月 16 日 (木)	単位クラブ女性部長会	女性部総会、女性部事業報告・決算報告	ギャラリーかめおか 大広間

日 時	事 業 名	内 容	備 考
5月28日(火)	第69回「社会を明るくする運動」	講演会開催についての会議	市役所2階会議室
6月13日(木) ～14日(金)	近畿ブロックリーダー研修会	分科会にわかれ研修会、講演会、交流会	大阪
6月14日(金)	日帰り研修旅行	年度日帰り研修旅行(大塚国際美術館他)	237名、42クラブ
7月4日(木)	人権教育指導者研修会	講演会	ギャラリーかめおか 大広間
7月11日(木)	正副会長会	各種事業についての審議	社協相談室3
7月16日(火)	市町村リーダー研修会	府老連研修会	ハートピア京都
7月18日(木)	理事会	グラウンドゴルフ大会、市民福祉のつどい準備	社協世代間交流室
7月20日(土)	第69回「社会を明るくする運動」	講演会	ギャラリーかめおか コンベンションホール
7月30日(火)	公式わなげ講習会	健康づくり事業、公式わなげ講習とゲーム	ギャラリーかめおか 大広間
9月3日(火)	第32回市民福祉のつどい	第1回実施会議	ギャラリーかめおか 響きホール
9月11日(水)	府老連わなげ大会	若手委員主催 公式わなげ大会	八幡市
9月12日(木)	正副会長会	老人週間・グラウンドゴルフ大会・定期大会について	社協相談室3
9月14日(土) ～20日(金)	老人の日・老人週間	全国老人クラブ一斉取組み	亀岡市内全域
9月19日(木)	理事会	老人週間・グラウンドゴルフ大会・定期大会について	社協世代間交流室
9月27日(金)	丹波ブロック女性リーダー研修会	講習会・研修会 等	福知山市
10月1日(火)	グラウンドゴルフ大会準備	大会準備(机・椅子・テント積込みなど)	月読橋球技場
10月2日(水)	グラウンドゴルフ大会開催	市長/議長/会長杯争奪38チーム、230人	月読橋球技場
10月11日(金)	京都府老人クラブ大会	京都府老人クラブ大会	京都テルサ
10月27日(日)	市民福祉のつどい	伝承あそびコーナー・ステージ踊り等企画	ギャラリーかめおか
11月1日(金)	会報発行	「市老連かめおか」第19号発行2,900部	株式会社ニチコミ
11月15日(金)	府老連わなげ大会	若手委員主催・ウォーキング大会	奈良県
11月18日(月)	定期大会等前日準備	開催準備、リハーサル、資料準備等	ギャラリーかめおか 大広間

日 時	事 業 名	内 容	備 考
11月19日(火) (終 日)	定期大会・指導者研修大会	第37回亀岡市老人クラブ連 合会定期大会、健康講座	ガレリアかめおか 大広間
11月26日(火) ～27日(水)	全国老人クラブ大会	全国老人クラブ大会	埼玉県
11月30日(土)	歳末たすけあい運動街頭募 金	本部役員参加	亀岡市内全域
12月1日	第37回亀岡市女性集会	本部役員参加	ガレリアかめおか コンベンションホール
12月5日(木)	正副会長会	新春会長・役員会・趣味の作 品展準備	社協相談室3
12月10日(火)	役員選考委員会	役員選考委員会	社協世代間交流室
12月12日(木)	理事会	新春会長・役員会・趣味の作 品展	社協世代間交流室
12月12日(木) ～13日(金)	全国老人クラブ連合会	全国老人クラブ セミナー	東京都
1月11日(土)	新春会長・役員会 中止	新春会長・役員会(京都スタ ジアム竣工式のため中止)	
2月4日(火)	第35回趣味の作品展	女性部準備	
2月5日(水) ～6日(木)	第35回趣味の作品展	36クラブ、223人出品、 386点作品展示	ガレリアかめおか 響きホール
2月6日(木)	市町村老人クラブ連合会事 務局長会議	府老連事業報告、事業計画他	ハートピア京都
2月13日(木)	広報委員会	会報発行準備・編集会議	社協相談室3
2月27日(木)	正副会長会	令和元年度総括/決算、令和2 年度事業計画・予算	社協相談室3
3月5日(木)	正副会長会/理事会	令和2年度予算案審議、令和 2年度日帰り研修旅行選定	社協世代間交流室
3月12日(木)	理事会	令和2年度予算案審議、令和 2年度日帰り研修旅行選定	社協世代間交流室
3月19日(木)	単位クラブ会長会	年間計画、令和2年度事業計 画・予算、日帰り研修旅行	新型コロナウイルス感染症 予防のため中止
通年事業	友愛施設訪問	施設に入所されている方への 友愛訪問	
	友愛在宅訪問	見守りが必要な高齢者宅への 友愛訪問	

⑤亀岡市母子寡婦福祉会

母子家庭や寡婦の皆さんが安心して暮らせる福祉社会を目指して、同じ立場の親子の「つながり」の輪が広がるよう、いろいろな活動をしています。

日 時	事 業 名	内 容
令和元年 5月18日(土)	第1回生活支援講習会	日帰り旅行 「伊勢湾・舞鶴」
7月21日(日)	ひとり親家庭の居場所づくり事業	学習塾・ヨガ教室
8月4日(日) 8月10日(土)	いきいきふれあい事業 第2回生活支援講習会	母子対象旅行「ブルーメの丘」 親子でわくわく工作会 「チョークアート」
11月2日(日)	第3回生活支援講習会	ピザ作り
12月23日(日)	第4回生活支援講習会	寄せ植え
12月22日(土)	ひとり親家庭の居場所づくり事業	書道教室
令和2年 1月19日(日)	母子寡婦福祉大会・新年のつどい	

6. 介護保険事業 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 訪問介護・総合事業第1号訪問(ホームヘルプ)事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介 護 予 防 訪 問 介 護 (人)	訪 問 介 護 (人)	合 計 (人)
平成29年度	310	187	401	588
平成30年度	309	231	421	652
令和元年度	308	268	398	666

介護保険法に基づき、利用者に可能な限り在宅生活を続けていただけるように、支援することを目的として、常に利用者の人格を尊重し、想いに寄り添い、利用者が必要とする適切なサービスを提供しました。

(2) 通所介護・総合事業第1号通所(デイサービス)事業

○利用実績

年 度	稼 動 日 数 (日)	介護度別登録人数 (年度末)(人)		利用者 延人数 (人)	1日平均 利用者数 (人)
		要 支 援	要 介 護		
平成29年度	309	13	57	5,692	18
平成30年度	305	21	52	6,135	20
令和元年度	307	14	57	6,357	20

・長期入院、入所、死去による利用中止 : 24件

＊ 通所介護

・ 中重度ケア体制加算の算定を継続

介護度が中重度(要介護3～5)であっても安心して過ごせるよう、中重度者の受け入れ体制を整えました。また、要介護3以上の利用者が30%以上を占めおり、前年度に引き続き中重度者ケア体制加算の算定を継続しました。

・ 認知症加算の算定を継続

算定にあたって必要な体制を確保していくために、認知症介護実践者等養成研修修了者育成に努め、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の利用者の割合が20%以上となり、前年度に引き続き認知症加算の算定を継続しました。

＊ 介護予防通所介護

・ 生活機能向上グループ活動加算の算定を継続

利用者自らが日常生活の課題に応じた活動が選択できるよう、日常生活に直結した活動内容を複数準備し、共通の課題を持つグループで、個別の目標設定や計画のもと活動し、生活機能向上グループ活動加算の算定を継続しました。

○ 提供内容

＊ 一日の流れの中で、ご利用者の意欲を引き出す環境づくりに努め、グループ体操や脳トレ、手芸・折り紙等の物づくりに取り組むことで、生活機能の向上や活気ある生活作りにつなげることが出来ました。隣接のガレリアかめおかの催しへの参加を積極的に行い、異なる空間へ出かけることで、利用者の刺激につながりました。

＊ 年間行事やレクリエーションを計画することで、季節感を感じ気分転換が図れるように、また、共に楽しみ日々の生活をハリのあるものになるよう努めました。

＊ ベッド臥床者の見守りや利用者の移動・居場所確認を重点に、午後からの職員の配置等の見直しを行い、利用者が安全に過ごしていただけるように努めました。

季節のドライブ、バラ園散策、外食、季節のお茶会、買い物レク(対象を要介護者にも拡充)、園児交流、調理レク、編み物、手作りレク、園芸、ボランティアによる口腔体操 民謡、認知症予防ゲーム、大正琴演奏、中学生の職場体験、実習生の受け入れ

○ 職員研修

事業所内外での研修に参加することにより、個人はもとより職員全体のスキルアップを図り、日常業務を見直すことができた。また、新しい情報を得、的確な介護や相談業務を行うことで、安心して利用していただける施設作りにつながりました。

(3) 居宅介護支援(ケアプラン作成)事業

【支援内容】

- ・ 利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った介護等に関する相談・助言。
- ・ 利用者のニーズに応じた居宅サービス計画書を作成。
- ・ 医療・行政機関や居宅サービスを提供する事業者、地域福祉等と積極的に連携しながら、公正・中立なサービスを提供。

○給付管理・認定調査件数

(単位：件)

	介護保険	介護予防	訪問調査
平成29年度	751	71	37
平成30年度	822	86	35
令和元年度	836	73	44

※主な業務内容

- ・居宅サービス計画書を作成
- ・支援経過観察と再評価
- ・希望により施設入所への支援
- ・必要により居宅サービス計画の変更
- ・介護保険の給付管理
- ・要介護認定等の申請に係る援助

7. 障害者自立支援給付事業

《ホームヘルプ事業》

○利用実績

年 度	稼働日数 (日)	身体障がい者(人)	身体障がい児(人)	知的障がい者(人)	精神障がい者(人)	合計(人)
平成29年度	310	134	60	42	125	361
平成30年度	309	132	52	48	122	354
令和元年度	308	97	39	48	100	284

【事業目的】

障害者総合支援法に基づき、障害者自立支援給付事業(ホームヘルプ)に取り組み、事業の質・サービスの向上を図り、常に利用者本位を心掛け、利用者が居宅において、安心して自立した日常生活が営めるように支援するサービスを提供しました。

*サービスの質・技術向上のため、様々な研修に取り組みました。

8. 子育て支援事業

(1) ひろば事業

家族でいつでも好きな時に来館し、親子で自由に遊べる「かめおっこひろば」では、保護者どうし、世代を越えた交流の場として、本年度は約2万2千人の利用がありました。

○ふれあいルーム利用状況（団体利用を除く）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
平成30年度	開館日数(日)	26	26	26	24	26	23	27	25	24	24	24	27	302	
	利用者数(人)	1,912	2,068	2,288	2,126	2,559	2,186	2,288	2,155	1,915	1,863	1,803	2,645	25,808	85
令和元年度	開館日数(日)	26	24	26	27	26	26	25	26	24	24	25	0※	279	
	利用者数(人)	1,983	1,784	2,233	2,283	2,539	2,305	1,999	1,990	1,614	1,678	1,665	0※	22,073	79

※新型コロナウイルス感染症予防のため臨時休館（3月1日～31日）

○利用者カードの発行

新規利用申込者数 令和元年度：627人（平成30年度 740人）

○成果と課題

- 今年度は利用者が減少しました。月別に見ると、10月から減少傾向が始まっています。同時期に幼児教育・保育の無償化が開始されたことに大きな影響を受けていると考えられます。
【 減少（前年比） 10月…87% 11月92% 12月…84% 1月…84% 2月…92% 】
- 曜日別にみると水曜日（19.6%）、金曜日（15.4%）の来館が多く、土日の利用は合わせて38%で昨年に比べると2.2%増えています。また一昨年から、「パパもウエルカムデー」として広報し、父親が一人でも安心して子どもと一緒に遊べる場所として、かめおっこひろばの土日の利用を促してきた成果が表れる結果だと考えます。（土日、祝日の父親を含む家庭の来館率は今年度27.9%）さらに情報の発信を工夫するとともに、父子対象のつどい事業を来年度は設定し、子どもとの遊びを体験する機会を提供していきます。
- 年齢別に見ると、0、1歳児が全体の58.6%を占めており、この傾向はここ数年続いています。赤ちゃんが安心して遊べる「赤ちゃんコーナー」の環境を整え、初めて来館する小さいお子さんをもつ人には、特に丁寧な説明や対応をすることをスタッフ全員が心がけています。また、ファミリー・サポート・センタースタッフとも連携を図りながらより迅速できめ細やかな支援につなぐようにしています。
- 野菜の収穫体験や生き物や植物とふれあうことのできる「かめおっこガーデン」の利用も進みました。利用者が誘い合って外で一緒にお弁当を食べたり、走り回って遊んだりしている姿が見られ、交流の場としても大きな役割を果たしています。

(2) つどい事業

○事業実績

事業名・対象	実施回数(回)	参加人数(人)	実施内容	実施日	講師・協力団体
プレびよひろば (妊娠中)	8	106	わらべうた胎教マッサージ	7月8日 11月19日	森中 美由紀さん
			ベビーモビール作り	5月13日	
			ベビークラウン作り	6月10日	
			リトルベル作り	10月7日	
			ベビークラウン作り	2月17日	
			助産師を囲んでの交流会	1月20日	森川好美さん
			助産師を囲んでの交流会	9月2日	
ひよこひろば (妊娠中～6か月まで)	11	453	ふれあい遊び	毎月 第2水曜日	
			寝相アート		
			交流会		主任児童委員
			子どもの発達と子育ての話		保健師 (亀岡市子育て支援課)
			ベビーマッサージ		芦田澄子さん
			防災の話		田村結衣消防士 (京都中部広域消防組合)
			リトル♡ヨガ		濱中一美さん (亀岡市社会福祉協議会)
ひよこひろば (7ヶ月～1歳まで)	11	532	ふれあい遊び	毎月 第4水曜日	
			すくすく相談(離乳食)		栄養士(亀岡市保育課)
			パネリアター・テーブルアター		湯浅和江さん
			リフレッシュ体操		丸山礼子さん
			交流会		主任児童委員
			絵本の読み聞かせ		
			1歳のお誕生会		
ぶくぶくひろば (1歳～2歳未満)	7	215	「おはな」	4月26日	※ 各月のテーマに沿って親子でふれあい遊びやごっこ遊びなどをしました。
			「こいのぼり」	5月24日	
			「あめふり」	6月25日	
			「うみ」	7月5日	
			「むし」	9月18日	
			「くだもの」	11月22日	
			「ゆき」	1月15日	

事業名・対象	実施回数(回)	参加人数(人)	実施内容	実施日	講師・協力団体
きらきらひろば (2歳以上)	6	199	ふれあい遊び	4月16日	
			ふれあい遊び	5月28日	榎麗子さん
			感触遊び	7月17日	
			オリンピックごっこ	9月27日	榎麗子さん
			落ち葉遊び	11月1日	
			楽器遊び	1月28日	
			新聞紙遊び	2月21日	榎麗子さん
みんなのひろば (全年齢)	5	386	音楽会・コーラス・紙芝居 ・人形劇・絵本の読み聞かせなど	5月15日	ミュージックパーク
				6月18日	カリサール tururu
				7月16日	UFOT 2 1
				11月18日	みなみのかぜ
				1月31日	亀岡子どもの本研究会
かがるひろば (1歳以上)	5	225	親子ふれあい遊び	5月25日	
			オープンデイ	7月14日	
			お祭りあそび	8月25日	
			ハロウィンイベント	10月20日	榎麗子さん
			3B体操・節分遊び	2月2日	井上八千代さん
子育て講座	2	125	講座 「今に寄り添う子育て」	6月19日	中村祐輔さん (理学療法士)
			講座 「子どもの発達と親 のかかわり方」	1月29日	笹井久嗣さん (作業療法士)
世代間交流事業	2	253	多胎育児家庭交流会	6月2日	
			クリスマス会	12月17日	廣田勇さん、ミュージック coco、のぞみの会
子育てネット ワーク事業	5	36	普通救命講習会	6月5日	救急救命士 (京都中部広域消防組合)
				8月30日	
				1月24日	
		29	子育てサークル代表者交流会	5月20日	子育てサークルの代表者 玉記道子さん (亀岡市人権教育啓発指導員)
活動交流 子どもの人権研修 Bcome 職員との交流	11月11日		岡本美由貴さん、 秋山知加さん (BCome)		
絵本のひろば	11	426	絵本の紹介・読み聞かせ	毎月 第2金曜日	北川チハルさん
合計	73	2,986			

○成果と課題

- 「ひよこひろば」は、従来通り保健師や栄養士、主任児童委員などが参加者と交流できる時間を十分にとるように心掛けました。結婚を機に亀岡市に住み周囲に知り合いが少なく不安をもって子育てをしている人も少なくないからです。今後も交流の場を大切にしていきたいと考えます。また、自然災害が多発する最近の状況から、京都中部広域消防組合から消防士を招いて、赤ちゃんを連れての避難の心得など防災について話を聞く機会も設けました。
- 1歳児の「ぷくぷくひろば」と2歳児以上対象の「きらきらひろば」は、「ひよこひろば」の後に進むひろばとして定着してきました。「ぷくぷくひろば」では、親が子どもの思いをくみながら言葉をかけて一緒に遊ぶことを大切に、毎月季節にちなんだテーマをもとに行いました。また、「きらきらひろば」では、子どもが親と離れてスタッフや他の友だちと一緒に遊ぶ場面も入れる工夫をしました。どのひろばも毎回定員いっぱいの申し込みがありました。今後も遊びを通じた親子のふれあい、他の参加者との交流を大切に事業づくりをしていきたいと考えます。また、だれもが参加しやすい事業を目指し、来年度からは申し込みの必要な事業については、電話でも受付ができるように改善していきます。(今年度までは来館のみの受付で対応)
- 「みんなのひろば」「絵本のひろば」「カンガルーひろば」など従来から行ってきた事業についても多くの参加がありました。つどい事業への参加が、普段ひろばに遊びに来るきっかけになっている人も多いので、来年度も参加者にとって楽しく、そして子育てのヒントになる事業を実施していきたいと考えます。

○出前ひろば

亀岡市立保育所子育て支援推進員、主任児童委員、子育て支援実践者等の皆様と連携して、地域における身近な場所で親子が集い、人々との交流から、安心と喜びが生まれる地域づくりをすすめました。

場 所	回数 (回)	家庭数 (件)	参 加 者 数 (人)				
			子ども	保護者	世代間	スタッフ	合 計
畑野健康ふれあいセンター	1	3	4	3	9	11	27
蕨田野生涯学習センター	2	11	12	11	14	13	50
亀岡市立図書館中央館	3	27	31	27	0	33	91
西つつじヶ丘ふれあいセンター	2	18	19	18	0	15	52
芝生ひろば	2	20	24	20	0	10	54
合 計	10	79	90	79	23	82	274

○成果と課題

- 保護者同士の交流の時間をメインに、ひろばを開催しました。民生委員児童委員の方の積極的な関りで、子どもたちは安心して保護者から離れて遊び、保護者は交流会でゆっくり話をする事ができました。話すことで子育てのしんどさを参加者同士で共感でき、終了後の保護者の笑顔を見ると、気持ちのリフレッシュにつながったと感じます。また、連絡先を交換する姿もあり、出前ひろばが参加者同士を繋ぐ場となっています。孤立しがちな子育て家庭が、出前ひろばに参加し、民生委員児童委員の方や地域のサロンの方、小学生と交流することで、地域での子育てのしやすさや、孤独感の軽減につながっていく事を感じます。
また、今年度は4月と11月に芝生ひろばで行いました。気持ちの良い季節に戸外で体を動かし、遊び、自然に触れることで心も体も解放され、笑顔があふれる良い時間となりました。
- 亀岡市立図書館との連携の中での絵本の読み聞かせは、同じ絵本を通し、気持ちを共感でき、とてもよい時間となっています。また、読み聞かせだけでなく、会場に絵本を持って来て下さることで、様々なジャンルの絵本に触れたり、見たり、読むきっかけになっています。

(3) 妊婦来館推進事業

妊婦からの子育て支援として、保健センターと連携をとり、母子手帳を取りに来た妊婦に支援センターの案内や子育ての輪（赤ちゃん用のおもちゃ）のプレゼント券を渡して、支援センターへの来館の機会を提供しています。

【妊婦登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年	0	4	0	6	5	6	1	9	2	0	7	5	45
29年	5	13	12	2	5	6	7	3	4	4	6	13	80
30年	5	7	4	5	9	8	2	7	4	7	6	7	71
令和元年	8	8	9	7	2	6	2	5	2	2	3	1	55

【成果と課題】

- 登録妊婦さんにプレゼントする「子育ての輪」は、今年も引き続き千代川町の小松寺の井上さんがお寺を開放して地域住民とともに作っていただきました。今年度から前半のひよこひろばに参加した産婦さんにもそれをプレゼントするなど、この事業の意義を知ってもらう機会を増やしました。
- 今年度から「プレぴよひろば」の対象を妊婦だけでなく産婦（産後4か月程度）まで広げて実施しました。また、会場を以前使用していた世代間交流室から、ふれあいルームの赤ちゃんコーナーに移しました。一緒に連れてきた上の子も遊ばせやすく安心できる環境を提供することができるようになりました。また、事業の様子を遊びに来た人に見てもらえるメリットもあります。
- 産前産後の方が一緒に参加することによって出産や育児の悩みを交流でき、産後の孤立化の解消の一助にもなりました。来年度も産前産後のつながりをもたせたひろばとして内容や情報発信を工夫していきたいと考えます。

(4) 相談事業（おひさま）

子育てに関する日常的な相談にスタッフが対応し、より専門的なことは他機関との連携を大切に取り組んでいます。

○相談件数

(単位：件)

相談事項	来館相談	電話相談	合計
食 事	4 5	0	4 5
排 泄	2 1	0	2 1
睡 眠	1 2	0	1 2
身体・健康	7 8	0	7 8
ことば	1 1	0	1 1
情緒・社会性	2	0	2
子ども同士の関わり	2	0	2
育児方針	0	0	0
母親支援	3 3 1	4	3 3 5
学校・幼児教育	9	0	9
苦情	1	0	1
その他	1 3	0	1 3
合 計	5 2 5	4	5 2 9

○成果と課題

- ・ 今年度は、延べ529件の相談がありました。特に子どもへの関り方に不安を抱き相談される方が多く見受けられました。一人ひとりの相談者の思いを受け止めながら丁寧に傾聴することを大切にし、相談の内容に困難さが感じられた時には、別室で行うこともありました。その後も継続して見守ることで相談者にとっては信頼できる安心して親子で利用できる身近な子育て相談できる居場所となっていることが、日々の様子から感じられました。
- ・ 毎週土曜日の「パパもウェルカムデー」では、お父さんや祖父母の方の来館が年々増えています。話をするうちに相談になることもよくありました。

来年度も、相談のきっかけとなる何気ない場面でのかかわりを大切にした雰囲気づくりを心がけます。

- ・ 遠方から結婚を機に亀岡に移ってこられた方が、周りに知り合いもない中で育児に行き詰まり、センターに遊びに来たことがきっかけで、人と繋がりが持て、その後

もセンターを利用される姿がありました。同じ悩みや境遇の方同士が繋がれるような、交流の場が今後必要と考えます。

(5) 情報提供事業

- 情報誌「かめおかつこひろば おたより」の発行
 - ・毎月1回（年間 12回）
 - ・発行部数 毎号200部
- ホームページによる広報
- Face book（随時）、LINE（3月より開始。毎月10日と25日配信）による子育て支援センターの事業情報の発信

(6) 子育てサークル・サロン支援

- ・実施団体数： 14団体
- ・開催日数： 延べ 139回
- ・参加人数： 延べ 3,921名

(7) チャイルドシート貸出事業

○令和元年度チャイルドシート貸出台数 (台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
平成 29年度	9	5	7	13	7	1	5	7	13	4	3	11	85	7
平成 30年度	12	7	7	17	9	6	6	11	13	6	4	13	111	9
令和 元年度	10	5	3	15	4	9	4	11	10	5	4	5	85	7

※ ゴールデンウィーク前の4月後半、夏休み～お盆、年末年始は家族の帰省時に利用する方が多く、今年度初めて12月後半には在庫が0になりました。市役所ホームページなどでチャイルドシート貸出の情報を入手し、借りに来られる方が増えています。

(8) ファミリー・サポート・センター事業

ア. 相互援助活動事業

子育ての援助を受けたい『おねがい会員』と、援助を行いたい『まかせて会員』により会員組織をつくり、会員相互の信頼関係のもとに、地域の人が子育て家庭を支援していきます。

ファミリー・サポート・センターは、安心して子育てができる環境作りをサポートしています。

○登録会員数

	全 会 員 数 (人)		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
おねがい会員	510	710	707
まかせて会員	238	254	261
両方会員	72	80	86
合 計	820	1,044	1,054

イ、相互援助活動件数

○実績

	活 動 内 容	29年度	30年度	令和元年度
1	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	44	0	27
2	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	108	120	160
3	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	7	0	0
4	小学校の放課後の預かり	5	1	8
5	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	896	202	73
6	学童保育の帰宅後の預かり	0	0	0
7	子どもの病気の援助	1	0	0
8	子どもの習い事等の場合の援助	539	511	355
9	保育施設・学校など休みの時の援助	43	20	17
10	保育施設など入所前の援助	0	4	0
11	保護者等の短時間・臨時就労の場合の援助	38	17	70
12	保護者等の求職活動中の援助	0	2	1
13	保護者等の冠婚葬祭による外出・他の子どもの学校行事の場合などの援助	0	0	2
14	保護者等の外出の場合の援助	10	53	13
15	保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	38	15	10
16	その他	31	68	20
	合 計	1,760	1,013	756
新 会 員 登 録 数	おねがい会員	86	214	80
	まかせて会員	18	22	6
	両方会員	10	8	11
	合 計	114	244	97
	マッチング件数	64	52	46

○成果と課題

- ・ 今年度は市民の方にファミリー・サポート・センターを知ってもらうことを目的として、かめおかっこひろば利用者への説明会（ひよこひろば参加者、新規登録者等）・保健センター乳児健診時出張説明会などに力を入れました。

依頼内容は習い事への送迎が多く、学童保育への迎え・預かり等の定期的な活動は減少しています。亀岡市外から転入された方の中には、今までとは違う初めての地域の暮らしと一人で子育てをする毎日に不安をかかえている方もいます。そのような状況の中で、かめおか

っこひろばへ遊びに来られた時には、ファミリー・サポート・センターで、子育てのサポートができることをお話しし、おねがい会員として登録されることを勧めています。

かめおかっこひろば内での活動の際には、「子どもがいつも遊んでいる場所で預かってもらえるので安心できる」と保護者の方に好評です。

これからもいろいろな機関へ出向き、ファミリー・サポート・センターのことを広報し、より多くの地域の子育て支援活動が充実することを目的として活動に取り組みます。

ウ. 会員活動実績

○交流会実績

	実施日	参加人数	内 容
おたのしみ交流会 「おいで～おいで～オープンデイ」	令和元年 7月14日(日)	92人	午前の部 「子育てWAIWAI」 絵本パフォーマーの榎麗子さんをゲストにお迎えしグループごとに子育てについての話をしました。 午後の部 「子育てWA～音」 小川一美さんをゲストにお迎えし、みんなで一緒に歌ったり踊ったりして楽しく過ごしました。
会員交流会 「ラフター ヨガ体操」	令和元年 9月24日(火)	8人	講師：俣野 彰子さん ・まかせて会員でもある俣野さんを講師にお迎えしラフターヨガで心も体もリフレッシュしたあとグループにわかれ交流会をしました。
会員交流会 「料理交流会」	令和2年 2月5日(水)	14人	講師：栗林 喜代子さん ・グループごとに分かれて料理を作り、試食会ではまかせて会員の活動の様子などを話してもらい会員同士の交流を図りました。
合 計		114人	

○成果と課題

① おたのしみ交流会「おいで～おいで～オープンデイ」

- ・今年度は、子育て支援センターと共催で「おいで～おいで～オープンデイ」を開催しました。

日ごろ子育て支援センターに遊びに来られている方やファミリー・サポート・センター会員はもちろんのこと、初めての方にも参加してもらうことで、より多くの方に子育て支援センターやファミリー・サポート・センターのことを知ってもらう良い機会となりました。

② 会員交流会「ラフターヨガ体操」

- ・声を出して笑うことで、新しい酸素を体に取り込み、体に良い効果をもたらすラフターヨガで心と体のリフレッシュをしました。
- ・講師は、長年まかせて会員として活動されている方をお願いしました。
- ・交流会の時に、まかせて会員の方から家での預かりの様子や活動の様子なども話していただくことで、おねがい会員として登録された方もファミサポの活動についてのイメージがしやすかったようです。

③ 会員交流会「料理交流会」

- ・料理を一緒に作ることで話も弾み、世代間交流もできました。
- ・試食会では自己紹介も兼ねながら、一人ずつ話していただく時間をもち、長年まかせて会員として活動してこられた方の心温まる体験談を聞きました。おねがい会員からは「困った

ときに助けてもらえる人が近くにいて心強く感じました。これからも、困った時にはファミサポにお願いしたいです。」という声も聞かれました。

* 日頃、会員同士が出会う機会が少ないので、いろいろな交流会を通じて交流を深めることができました。来年度も会員の意見を取り入れながら有意義な交流会の開催を目指します。

講習会名	開催日	内 容	参加者数
第1回 まかせて会員講習会	令和元年 6月3日(月)	説明会・登録会	3
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	7
		子どもの権利(人権)について	7
	6月4日(火)	子どもの発達、生活習慣と遊び	7
		まかせて会員として活動をするために	6
子育て ネットワーク事業	6月5日(水)	普通救命講習会	7
子育て ネットワーク事業	8月30日(金)	普通救命講習会	6
第2回 まかせて会員講習会	9月3日(火)	説明会・登録会	1
		子どもの発達・生活習慣と遊び	2
		まかせて会員として活動をするために	2
	9月4日(水)	子どもの安全と身近な事故の応急処置について	3
		子どもの権利(人権)について	7
フォローアップ 講習会	10月30日(水)	コミュニケーションをとる上で大切なこと	16
レベルアップ 講習会	11月29日(金)	「子どもの食事について」	11
第3回 まかせて会員講習会	令和2年 1月17日(金)	説明会・登録会	4
		子どもの安全と身近な事故の応急処置について	12
		子どもの権利(人権)について	9
	1月18日(土)	子どもの発達、生活習慣と遊び	10
		まかせて会員として活動をするために	8
子育て ネットワーク事業	1月24日(金)	普通救命講習会	9
合 計			137

○成果と課題

① まかせて会員講習会

- ・ 今年度のまかせて会員講習会は登録してから経年のまかせて会員に再受講を勧め受講してもらいました。時代も移り変わり子育ての方法も変化しています。再受講をしてもらうことはファミサポの活動の上で大変有意義なことです。来年度も再受講の方も募っていきたいと思います。
- ・ 亀岡市役所の広報誌を見て、まかせて会員講習会の受講申し込みをされる方もいますが、より多くの方に受講してもらえるように、かめおかっこひろば利用者にむけての周知や広報などを継続してすすめる必要があります。

② フォローアップ講習会

社協職員の臨床心理士を講師として招き、コミュニケーションをとるうえで大切にしたいことを話してもらい、グループにわかれてネガティブ言葉をポジティブ言葉に書き変えてみました。人の話を聴く5つのポイントを教えてもらいながら、口に出して褒めることの大切さなどを学びました。ファミサポの活動の中で子どもと接するときや子育てをするうえでも役立つ内容でした。

③ レベルアップ講習会

- ・ 亀岡市役所健康増進課 管理栄養士に来ていただき、「子どもの食事について」の話と、簡単にできるおやつ等を教えてもらいました。

おやつ＝甘いものと思っていた方もおやつに対する考えが変わり、食育に興味・関心を持ってもらえました。子育てや孫育てにもいかせる内容でもあり、今後も引き続きこの内容の講習会を実施するように考えています。

9. 第32回市民福祉のつどい～つながりあおう地域の輪！かめおかの輪！～

「つながりあおう！地域の輪！かめおかの輪！」をテーマに障害児者、高齢者、親と子、世代を超えてさまざまな人が集い、交流しお互いに思いやり、共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティの形成を目指して、地域福祉の輪を広げることを目的に開催しています。

(1) 内 容

◇オープニング (9:50～10:00 ロビーギャラリー・ステージ)

手話コーラス 「四季の会」 (ふれあいフェスティバル2019)

◇開 会 式 (10:00～10:50 ロビーギャラリー・ステージ)

開式

主催者あいさつ

表彰

来賓祝辞

大会宣言 (第38回亀岡市障害者福祉大会)

閉式

(総合受付にて抽選券配布開始 10:00～)

◇アトラクション

1) みんなだいすきかめおかっこ

亀岡市社会福祉協議会

「うたとおどり」

子育て支援センター&ファミリーサポートセンター

2) 盲導犬デモンストレーション

国際ソロプチミスト亀岡・関西盲導犬センター

3) 心に響く歌&ギター演奏

4 disabilities

4) 光秀音頭・亀岡音頭・丹波音頭

亀岡市老人クラブ連合会

5) 和太鼓演奏

介護老人保健施設 陽生苑 「太陽」

◇市民福祉のつどい お楽しみ抽選会

◇1 階 ロビーギャラリー

ボランティア活動紹介コーナー他・喫茶コーナー (亀岡ボランティア連絡協議会)

福祉の店 (亀岡福祉会・太陽共同作業所・みんなではたらく・亀岡地区更生保護女性会)

松花苑ワークスおーい・国際ソロプチミスト亀岡・母子寡婦福祉会)

福祉なんでも相談（社会福祉士会）・里親相談（京都府家庭支援総合センター）
認知症啓発・相談（京都丹波オレンジロードつなげ隊）
亀岡デイ部会合同作品展（亀岡デイ部会）
車椅子貸出、集めておくボランティア（市社協）
「生きがい曾我部」活動教室作品展・亀岡市内サロンマップ・ボランティアセンター
コーナー（市社協）・「いけばな・リサイクルアート」（亀岡市社会福祉施設協議会）
災害ボランティアセンター（市社協）
イベント募金（ポップコーン・スーパーボールすくい）（地区社会福祉協議会）
社会貢献活動紹介（亀岡保津川ライオンズクラブ）・ホームヘルプセンター活動紹介（市社協）

◇模擬店

- うどん（亀岡市子ども会育成連絡協議会）
【リユース食器を使用しました】
- 綿菓子（支援センター圭）
- ホットケ芋（みんなではたらく）
- カレー・から揚げ・出し巻・おにぎり
ポテトフライ（中川商店）
- 弁当・炊き込みご飯（よし峯）
- 焼き鯖寿司・亀岡牛カツ巻寿司（魚留）
- たこせん（亀岡商工会議所女性会）

◇1 階 コンベンションホール

チャリティーバザー（亀岡市民生委員児童委員協議会 福祉部会）

◇わくわくふれあい広場

日本庭園前

こども広場【遊びのコーナー】（日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
ガールスカウト京都府連盟第57団）

ミニ電車乗車コーナー（保津川ライブスチームクラブ）

工作室

ミニ帽子（亀岡地区更生保護女性会）

おじゃみ・バルーンアート（亀岡市老人クラブ連合会）

おりがみあそび（亀岡市障害児者を守る協議会）

創作室

親子ふれあいひろば（亀岡市民生委員児童委員協議会 児童部会）

◇ふれあいプラザ

子育て支援センター

ファミリー・サポート・センター紹介

(2) 実施会議の開催

- ・開催回数 2回(令和元年9月3日(火)12月10日(火))
- ・協力団体 39団体

【実績報告】

第32回市民福祉のつどい・ふれあいフェスティバル・健康いきいきフェスティバルと3事業合同開催であり、健康と福祉を共に考える場としてより多くの市民の方に参加して頂けたものと思っております。アトラクションとして、介護老人保健施設陽生苑の和太鼓クラブ「太陽」さんによる和太鼓演奏や、障がい当事者の方で結成されているバンドグループの4disabilitesさんの歌と演奏など、世代を超えた方々の参画で会場が活気づき来場者の皆様により楽しんで頂くことが出来ました。また、災害ボランティアセンターの取組みとして、災害ボランティア活動や取組みの紹介や、家族構成別のわが家の備え物品の展示など、参加者の皆様へ日々の防災意識の啓発にもなりました。

【協力団体(順不同)39団体】

亀岡市民生委員児童委員協議会	亀岡地区社会福祉協議会	(福)亀岡福祉会
亀岡市社会福祉施設協議会	曾我部町地区社会福祉協議会	亀岡青年会議所
亀岡保津川ライオンズクラブ	保津町社会福祉協議会	亀岡商工会議所女性会
亀岡市身体障害者福祉協会	吉川町地区社会福祉協議会	亀岡地区更生保護女性会
亀岡ボランティア連絡協議会	本梅町地区社会福祉協議会	国際ソロプチミスト亀岡
日本ボーイスカウト亀岡第1団	葺田野町地区社会福祉協議会	亀岡市母子寡婦福祉会
ガールスカウト京都連盟第57団	篠町地区社会福祉協議会	太陽共同作業所
亀岡市障害児者を守る協議会	宮前町地区社会福祉協議会	亀岡市老人クラブ連合会
亀岡市子ども会育成連絡協議会	亀岡地区東部社会福祉協議会	亀岡飲料連合会
亀岡デイ部会	東つつじヶ丘地区福祉協議会	(株)みんなではたらく
京都府家庭支援総合センター	南つつじヶ丘地区社会福祉協議会	京都社会福祉士会
京都丹波オレンジロードつなげ隊	亀岡地区中部社会福祉協議会	(副)信和福祉会 圭の家
亀岡保津川スチームクラブ	(福)松花苑ワークスおーい	亀岡市

(3) 協賛先名簿 (順不同、敬称略)

No.	企業名
1	(協) 亀岡ショッピングセンターアミティ
2	S A I W A I B r a i n s
3	大 甘 野 営 農 組 合
4	医療法人 吉岡整形外科医院
5	魚 留 河 原 町 店
6	浦 田 歯 科 医 院
7	エ イ コ 美 容 室
8	オ ク ノ 電 化
9	サ ロ ン ・ ド ・ は る
10	亀 岡 金 融 会
11	亀 岡 商 工 会 議 所
12	あずきの里 京菓子 ふじ幸
13	木 曾 精 肉 店
14	木 村 測 量 登 記 事 務 所
15	京 都 信 用 金 庫 亀 岡 支 店
16	京 都 農 業 協 同 組 合
17	京 都 北 都 信 用 金 庫 亀 岡 支 店
18	さ か 井 食 堂
19	サ ラ ダ 館 篠 店
20	三 究 プ リ ン ト
21	塩 武
22	税 理 士 法 人 b e
23	す み や 亀 峰 庵
24	税 理 士 法 人 平 田 会 計 事 務 所
25	田 中 紙 店
26	タ マ テ ル 吉 村 信
27	中 華 料 理 広 東
28	中 国 料 理 彩 桂
29	朝 日 堂
30	と く 涛
31	十 倉 康 吉 商 店
32	西 岸 寺
33	西 台 卓 球 場

No.	企業名
34	農事組合法人 千ヶ畑営農組合
35	パ テ ィ ス リ ー シ ェ ・ サ ン タ
36	開 け ゴ マ ・ 齋 藤 鍼 灸 院
37	藤 村 種 苗 園
38	平 壤 亭
39	ホームセンターコーナン亀岡大井店
40	保 津 町 自 治 会
41	保 津 町 社 会 福 祉 協 議 会
42	本家かまどや クニッテル店
43	亀 岡 石 油 商 業 組 合
44	薪 窯 パ ン ふ く く る
45	山 内 ス ポ ー ツ
46	山 田 精 巧 社
47	亀 岡 市 観 光 協 会
48	湯の花温泉観光旅館協同組合
49	洋菓子館 ベルジェノア
50	ヨメ学・マジックサロン
51	そ う し ん フ ェ ー ム
52	曾我部町玉ねぎ栽培グループ
53	第 三 か め お か 作 業 所
54	(有) 楠 新 聞 舗 南 丹 旅 行
55	(有) オ ビ ヤ 商 事
56	(有) 関 西 整 備 車 検 セ ン タ ー
57	(有) 倉 昇 工 務 店
58	(有) サ ー テ ィ ワ ン
59	(有) 沼 田 モ ー タ ー ス
60	(有) 光 嶋 建 築 事 務 所
61	(有) 雅
62	(有) 楠 新 聞 舗
63	(有) 山 本 乳 販
64	大 石 酒 造 (株)
65	京 都 タ ク シ ー (株)
66	玉 川 楼 (株)

No.	企業名
67	竹 岡 醬 油 (株)
68	内 藤 印 刷 (株)
69	前 田 興 業 (株)
70	江 守 石 油 (株)
71	南 丹 清 掃 (株)
72	マ ン マ ル 産 業 (株)
73	矢 田 石 油 (株)
74	渡 辺 製 菓 (株)
75	八 千 代 ケ ア サ ポ ー ト (株)
76	石 井 食 品 (株)
77	(株) 亀 岡 給 食 セ ン タ ー
78	(株) ウ イ ズ
79	(株) 京 都 協 同 管 理
80	(株) ウ エ ダ
81	(株) 魚 留 大 井 本 店
82	(株) 栄 好 工 務 店
83	(株) エ ス ・ ア ー ル ・ エ ム
84	(株) カ ー シ ョ ッ プ ・ ナ カ イ
85	(株) 三 煌 産 業
86	(株) 親 愛
87	(株) ダ ス キ ン 千 代 川 店
88	(株) 天 声 社
89	(株) ビ ー ・ ネ ク ス ト
90	(株) 平 和 堂 ア ル プ ラ ザ 亀 岡
91	(株) 松 園 荘
92	(株) マ ツ モ ト
93	(株) や ま ざ き 商 店
94	(株) 小 城 製 菓
95	(株) 小 林 製 作 所
96	(株) 前 平 電 機
97	(株) 宮 本 屋
98	(株) ホ ン ダ 西 京 都
99	匿 名 4 件

10. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金募金実績 (亀岡地区支会扱い)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
戸別募金	6,085,883 円	6,168,074 円	6,463,714 円
その他	1,122,415 円	1,107,883 円	1,155,522 円
合計	7,208,298 円	7,275,957 円	7,619,236 円

○赤い羽根共同募金「募金機能付き自動販売機設置」

売上げの一部が共同募金会の募金となり、地元の地域福祉に還元される自動販売機の設置を推進。

市内設置場所	ガレリアかめおか（余部町）	3台
	東部文化センター（篠町）	1台
	亀岡市シルバー人材センター（追分町）	1台
	理容室リーフ（北古世町）	1台

○イベント募金

赤い羽根共同募金の募金額を増やすとくみとして、市全体を対象に実施されるイベント（光秀祭り等）や、各地域で行われるイベント（夏祭りや世代間交流になる住民イベント等）に市社協として参画しました。各イベントにおいて、「ポップコーン」や「ワッフル」、「スーパーボールすくい」を販売し、販売した売上金額から材料費を差引いた額を募金といたします。

集まった募金は、翌年度の「赤い羽根共同募金地域助成金」として、「亀岡市のまちを良くするための地域福祉活動」や各地域へ共同募金事業の助成金として還元し「各地域に沿った課題解決事業」として活用していただきます。

実施においては、亀岡中学校学習探究部にも協力していただきました。

	イベント名	募金額
5月3日(金)	第47回亀岡光秀祭り	95,130円
5月25日(土)	南つつじヶ丘 ガレージセール	1,749円
7月14日(日)	子育て支援センター オープンデイ	100円
7月27日(土)	安町 夏祭り	11,417円
8月18日(日)	吉川町 夏祭り	10,810円
8月20日(火)	亀岡園 夏祭り	11,850円
9月4日(水)	京都府社会福祉大会	80円
10月4日(金)	ハートフェスタ2019	14,195円
10月27日(日)	市民福祉のつどい	31,882円
11月4日(月)	亀岡地区東部フェスタ	12,450円
11月10日(日)	宮前町民フェスティバル	12,480円
11月17日(日)	東本梅町ふれあい祭り	6,700円
12月7日(土)	第8回きょうと地域福祉活動実践交流会	1,795円
	合計	210,638円

(昨年度比 : + 7,555円)

○赤い羽根共同募金 助成金事業 実績

『共同募金と地域支援活動の一体化』として取り組みを行いました。

事業区分		対象事業	目的・事業内容	団体数	令和元年度 交付実績額
特別枠 (3)		本会が特に福祉効果が高いと認めた福祉推進事業		4	450,000 円
1 地域を知り、 住民参加 を図る	A	福祉マップや 地域防災マップの 作成・更新	地域を知り、支え合いを広げる活動	0	
	B	“わたしたちの周り の福祉課題を考える会”の実施	各町全体または各区ブロックで、地域の福祉課題やニーズを話し合う。 当事者(一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等)毎に懇談会の実施やアンケート調査。	1	50,000 円
	C	担い手(ボランティア)の養成・組織化	ボランティア活動に興味・関心のある地域住民を募りボランティア入門講座の実施や組織化をおこなう。移送支援、買い物支援、配食サービスなど福祉課題の解決に取り組むボランティアの活動を育成。	3	212,000 円
2-① 学びあう 活動	A	地域福祉、福祉課題別の理解促進のための研修	地域住民等を対象に福祉課題に関する研修会を実施する。(高齢、障がい、子育て、防災など)	3	205,000 円
	B	当事者を理解するための体験学習	地域住民等を対象に当事者への理解を深めるための実技講習を実施する。	0	
	C	子どもたちと地域をつなぐ福祉教育	学生や子ども達が地域に出向いて、高齢者や障がい者等と交流する活動や、地域住民が学校等を訪問し、交流する活動。自分のまちを知り、理解するきっかけとなる学習交流事業	4	135,000 円
2-② ふれあう 活動	A	当事者の交流活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等、当事者同士の交流を図る。	11	574,000 円
	B	当事者の交流活動 地域行事参加促進	高齢者や障がいのある人等が地域行事に気軽に参加できるように、呼びかけや行事内容を工夫する。	4	215,000 円
	C	福祉施設との交流活動	地域にある福祉施設との交流を深め、施設行事等への協力を行うとともに、地域活動の充実を図っていくために連携・協働をすすめる。	1	15,000 円
2-③ 支えあう 活動	A	見守り訪問活動	一人暮らし高齢者、要介護者の家族、障がい児の家族、障がい者、子育て家族、ひきこもり、虐待等を定期的に見守り訪問を行い、相談を受けるとともに、4 必要に応じて関係機関へつなぐ活動。	2	57,000 円
	B	居場所づくり活動	小地域で行う高齢者、子育て等のサロン活動。また、サロン活動リーダー・スタッフとして市内各地で支援する活動。	34	2,394,000 円
本会が行う地域福祉事業		災害見舞金	災害被災者見舞金、火事見舞い金	3	23,000 円
		イベント募金を財源とした「地域助成金」事業	イベント募金を財源とする「地域助成金」及びイベント募金事業実施経費	6	88,923 円
		ふれあいサロン活動支援事業	ふれあいサロンなど地域での居場所や支え合い活動推進事業	1	107,485 円
		福祉体験学習事業	夏休み福祉体験事業、福祉教育(通年)推進事業	1	121,350 円
		共同募金助成事業経費	配分金助成事業のための 通信運搬費、振込手数料、印刷経費等		142,569 円
合 計				78	4,790,327 円

助成金申請や報告書提出時の取りまとめについて、相談期間を設け、申請団体の立場に立つての支援を心掛けました。実施状況についてもできる限り活動の現場に実際に足を運ぶなかで確認し、共同募金の趣旨に沿った実施となるよう、地域の活動者に説明をおこないました。

また、助成金の単なる配分事業でなく、運営相談や地域住民のニーズ聞き取り等も行い『共同募金と地域支援活動の一体化』をこころがけました。(訪問回数39回)

11. 歳末たすけあい運動

(1) 協力団体

- ・ 亀岡市自治会連合会
- ・ 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・ ガールスカウト京都府連盟第57団
- ・ 亀岡市母子寡婦福祉会
- ・ 亀岡市PTA連絡協議会
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・ 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団
- ・ 亀岡市老人クラブ連合会
- ・ 亀岡市社会福祉施設協議会
- ・ 京都学園大学教育修学支援センター

(順不同)

(2) 募金の使途

項 目	内 容	金 額 (円)
在宅 (見舞金)	857件	4,285,000
施設配分	みかん箱40箱・タオル・石鹸・ティッシュペーパー・トイレトペーパー	120,000
年末年始事業配分	各自治会・地区社協・地区民児協	2,295,000
歳末たすけあい運動啓発	広報誌掲載	36,160
事務費	印刷製本、消耗品等、団体協力費	414,456
当年度期間外募金		21,183
次年度繰越金	共同募金会へ	151,412
合 計		7,323,211

※事務費・次年度繰越金については、共同募金会会計にて対応

○在宅 (見舞金) の内訳

配 分 対 象	対象者数 (人)	配分単価 (円)	金 額 (円)
寝たきり・認知症高齢者	75	5,000	375,000
重度障害児者	699		3,495,000
交通遺児	7		35,000
被爆・公害患者	14		70,000
その他支援を必要とする家庭	62		310,000
合 計	857		4,285,000

○配分先施設の内訳

・ 青葉学園	・ かめおか作業所	・ 第二亀岡園
・ 花ノ木医療福祉センター	・ 第二かめおか作業所	・ 第二亀岡園ケアハウス
・ 松花苑かしのき	・ 第三かめおか作業所	・ 亀岡友愛園 (軽費老人ホーム)
・ ワークスおーい	・ 太陽共同作業所	・ 亀岡友愛園 (特別養護老人ホーム)
・ 圭の家	・ 亀岡園	・ 関西盲導犬協会盲導犬訓練センター
・ ケアハウス朝野	・ こもれび	・ 陽生苑
・ 亀岡たなばたの郷		

(3) 募金収入

項 目	金 額 (円)
地 域 募 金	6, 0 8 4, 0 2 8
篤 志 者 寄 付 金	7 8 3, 1 3 1
街 頭 募 金	2 6 7, 3 7 3
期 間 外 募 金	2 1, 1 8 3
小 計	7, 1 5 5, 7 1 5
前 年 度 繰 越 金	1 6 7, 4 9 6
合 計	7, 3 2 3, 2 1 1

○地域募金の内訳

町 別	金 額 (円)	町 別	金 額 (円)
亀岡東部地区	4 5 2, 3 0 0	大 井 町	5 9 1, 2 0 0
亀岡中部地区	4 4 8, 7 0 0	千 代 川 町	5 4 0, 1 5 0
亀岡西部地区	3 5 0, 3 0 0	馬 路 町	1 6 2, 7 0 0
東 別 院 町	1 6 5, 5 0 0	旭 町	8 5, 9 5 0
西 別 院 町	9 8, 8 0 0	千 歳 町	1 3 0, 4 0 0
曾 我 部 町	3 2 2, 1 5 0	河 原 林 町	9 3, 2 0 0
吉 川 町	5 5, 9 0 0	保 津 町	2 0 0, 3 0 0
菫 田 野 町	2 7 7, 1 0 0	篠 町	9 9 6, 1 0 0
本 梅 町	1 6 2, 2 0 0	東つつじヶ丘	1 3 1, 9 0 0
畑 野 町	6 1, 9 2 8	西つつじヶ丘	2 6 9, 9 0 0
宮 前 町	1 4 0, 1 0 0	南つつじヶ丘	2 7 6, 0 5 0
東 本 梅 町	7 1, 2 0 0	合 計	6, 0 8 4, 0 2 8

○篤志者寄付金内訳 (順不同・敬称略)

篤 志 者 氏 名	金 額 (円)
中村 功	1 0, 0 0 0
河原林 正昭	1 0, 0 0 0
福岡 澄	1 0, 0 0 0
亀岡金融会	2 0, 0 0 0
J A京都亀岡女性部 八重桜の会	5 0, 0 0 0
亀岡建設業協会	1 0, 0 0 0
亀岡市P T A連絡協議会	1 5 0, 5 2 1
湯の花温泉観光旅館協同組合	1 0, 0 0 0
天理教亀岡大教会	7, 5 0 0
協同組合亀岡ショッピングセンター アミティ	1 0, 0 0 0
亀岡ロータリークラブ	5, 0 0 0
亀岡中央ロータリークラブ	5, 0 0 0

篤志者氏名	金額(円)
社交ダンスサークルもみの木会	20,000
Hair Face SAIWAI Brainns	3,000
川東地区佛教会	150,000
宗教法人 大本 広報渉外課	40,881
亀岡市老人クラブ連合会定期大会出席者	4,558
亀岡商工会議所	20,000
亀岡市民生委員児童委員協議会	221,400
亀岡市総合福祉センター	126
社協職員	22,500
ふれあいプラザ募金箱	2,645
合計	783,131

(4) 物品寄付 (敬称略)

氏名	寄付品
亀岡市PTA連絡協議会	タオル：409枚 石鹸：396個 ティッシュペーパー：178箱 トイレットペーパー：113ロール その他

(5) 年末年始事業

町名	事業実施者	内容	対象者	参加者数(人)
亀岡地区	亀岡地区東部社会福祉協議会	講演会(火災と安全の備え) 交流会(津軽三味線演奏会、 ゲーム等)	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	37
	亀岡地区中部社会福祉協議会	交流会(ワリナ・ハーモニカ演奏会、 マジック、健康体操、昼食会)	ひとり暮らし高齢者	80
	下矢田町5自治会	昼食会、歌謡ショー	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	34
	亀岡地区西部自治会	音楽会(ワリナ演奏・歌)、食 事会、歌謡ショー、抽選会	ひとり暮らし高齢者 65歳以上	60
東別院町	東別院町自治会	みかん・つるし柿の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	70
西別院町	西別院町自治会	おせち料理配食事業 児童図書カード等の配布	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	31
曾我部町	曾我部町自治会	ひとり暮らし高齢者、ひとり 親家庭世帯への配食サービス	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	99
吉川町	吉川町自治会	お米の配布	ひとり暮らし高齢者	23

町名	事業実施者	内容	対象者	参加者数(人)
蕨田野町	蕨田野町地区社会福祉協議会	もちつき大会	全町民	300
本梅町	本梅町地区社会福祉協議会	ふれあいサロン、炊き出しへの参加(亀岡友愛園)、家庭訪問	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	75
畑野町	畑野町自治会	宝来さん(正月のお祝い)と年間カレンダー(畑小6年生作品)の配布	ひとり暮らし高齢者	111
宮前町	宮前町地区社会福祉協議会	おせち料理配食事業、友愛訪問	ひとり暮らし高齢者	38
東本梅町	東本梅町自治会	高齢者作品展・ビンゴゲーム・アトラクション、高齢者と子供の世代間交流・しめ縄作り	全町民	250
大井町	大井町自治会	お茶漬けセットの配布、友愛訪問	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	198
千代川町	千代川町自治会	親睦会(気功・大正琴演奏会と歌・ビンゴゲーム・昼食会)	高齢者・要支援高齢者	140
馬路町	馬路町自治会 馬路町民生委員児童委員協議会	花と果物の配布	ひとり暮らしの 70歳以上の高齢者	42
旭町	旭町自治会	高齢者と小学生・住民・児童・ボランティアとの交流	高齢者全般・幼児を含む子ども達とその家族	126
千歳町	千歳町自治会	交流会(防犯の勉強会・体操・軽食・語り等)	高齢者世帯	189
河原林町	河原林町自治会	正月用(寄せ植え)づくり	85歳以上又はひとり暮らし高齢者	89
保津町	保津町社会福祉協議会	記念品と見舞金のお届け	ひとり暮らし高齢者・寝たきり高齢者、障害者、低所得者	168
篠町	篠町自治会	おもてなしセットと挨拶状配布(友愛訪問)	民生児童委員訪問家庭	490
東つつじヶ丘	東つつじヶ丘自治会	もちつき交流会	地域住民全般、高齢者全般	400
西つつじヶ丘	西つつじヶ丘自治会	もち配布・家庭訪問、安否確認	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	149
南つつじヶ丘	南つつじヶ丘自治会	もち配布、新春交流会(食事会・演芸会)	ひとり暮らし高齢者 ひとり親家庭	125
合計	24団体			3,324